
君は
あの日
静かに
寝取られた

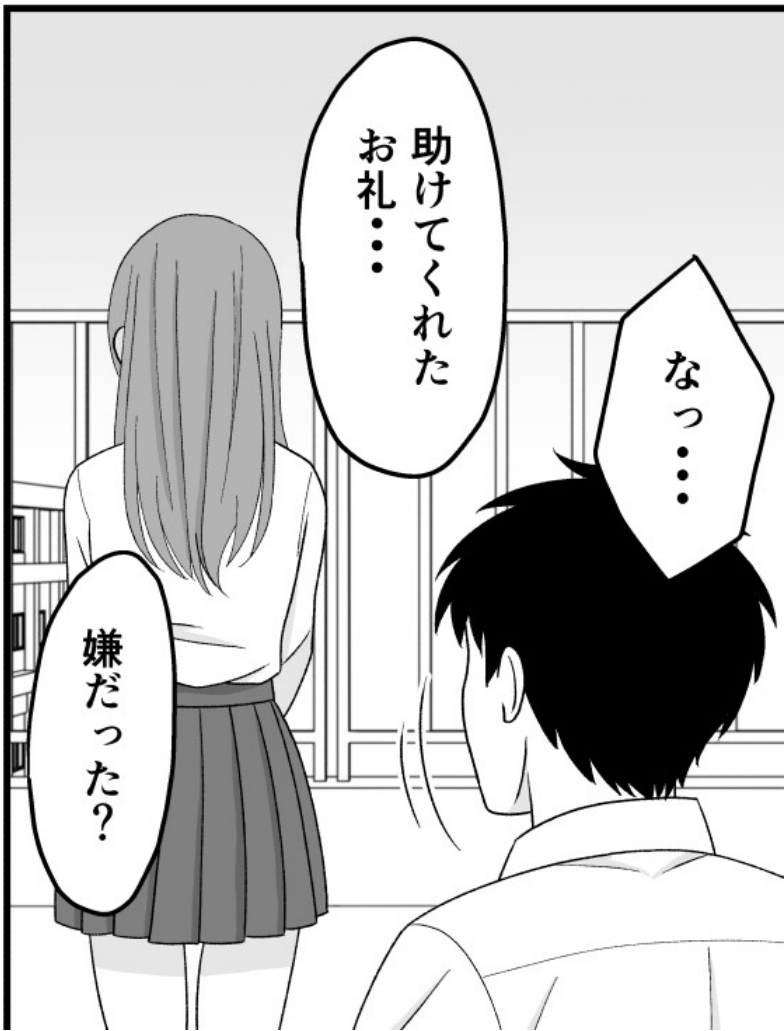

斎藤りお
僕の幼馴染でもあり
人生で初めて告白
して付き合った恋人だ
あ…
拓ちゃん
幼馴染とはいえ
こんな冴えない俺が
よく付き合えたと思う
ヒラッ
育ちが良いせいか
おしとやかで清楚で
クラスではかなりの
人気ものだ
実家が会社を経営
していてお金持ち

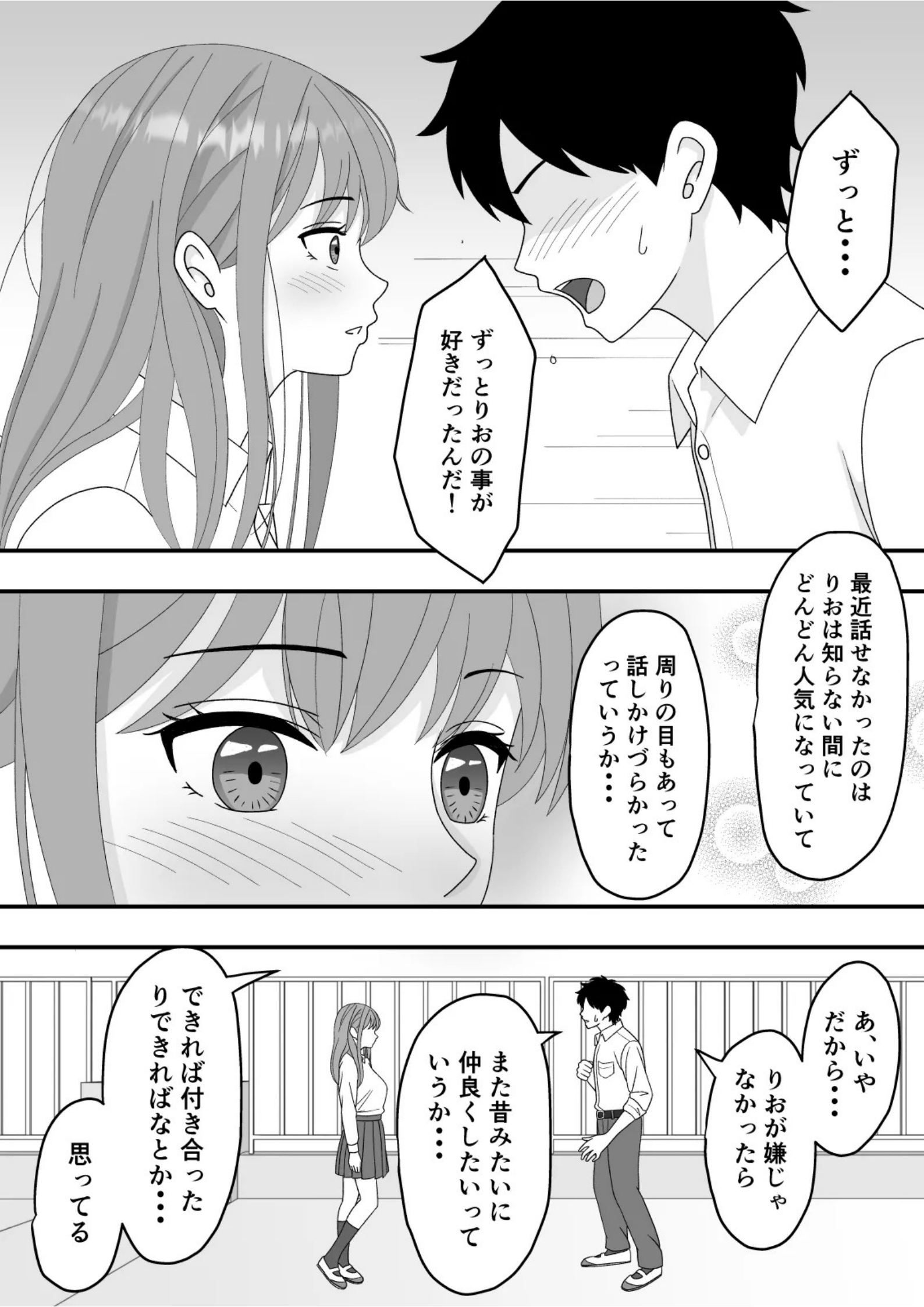

放課後はりおと一緒に
帰りながら街をブラブラ
するのが日課になっていた
目的があるわけじゃ
ないけどカフェに
入ったり
そしたら杉浦
のやつさ・・・
なにそれ
図書館で本を読んだり
これみて
ん？
そんなことをしながら
今日あった出来事とかを
話し合うのが楽しかった


りおは高校に入るとすぐにそのルックスと人柄から人気になり
陰キャの俺なんかは近づきがたい存在になっていたんだけど
登校中にりおが痴漢にあっているのを助けた事をキッカケに仲良くなった
最近、ぜんぜん話してくれないから
ありがとう拓ちゃん
嫌われちゃったのかと思ってた・・・
べ・・・別に・・・あんなの見たら助ける普通でしょ
私以外でも助けてくれてた？
それは・・・
りおは小さい頃から知ってるし
特別っていうか・・・


え？
ちゅ♡

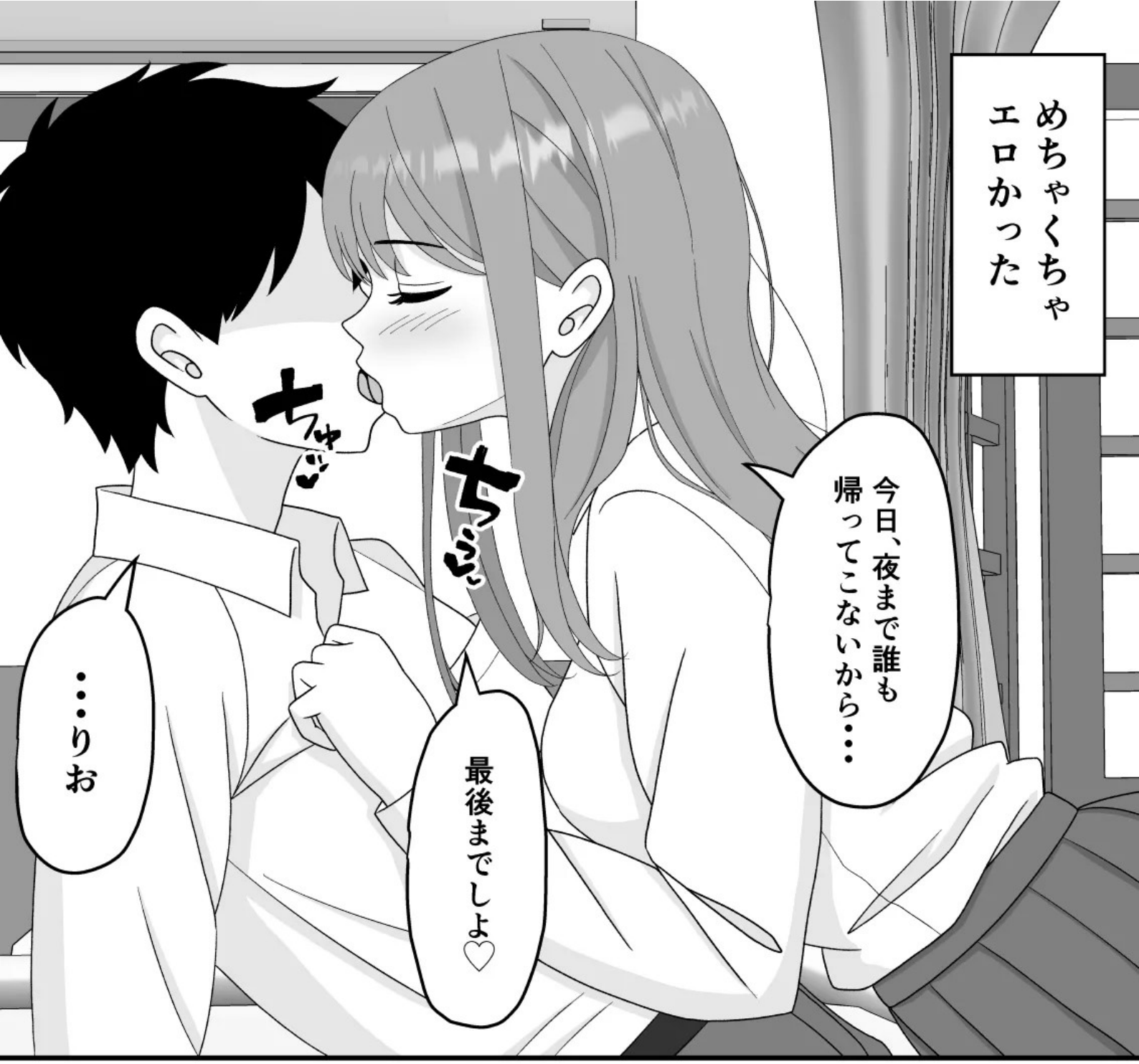

お…おれっ
…っ

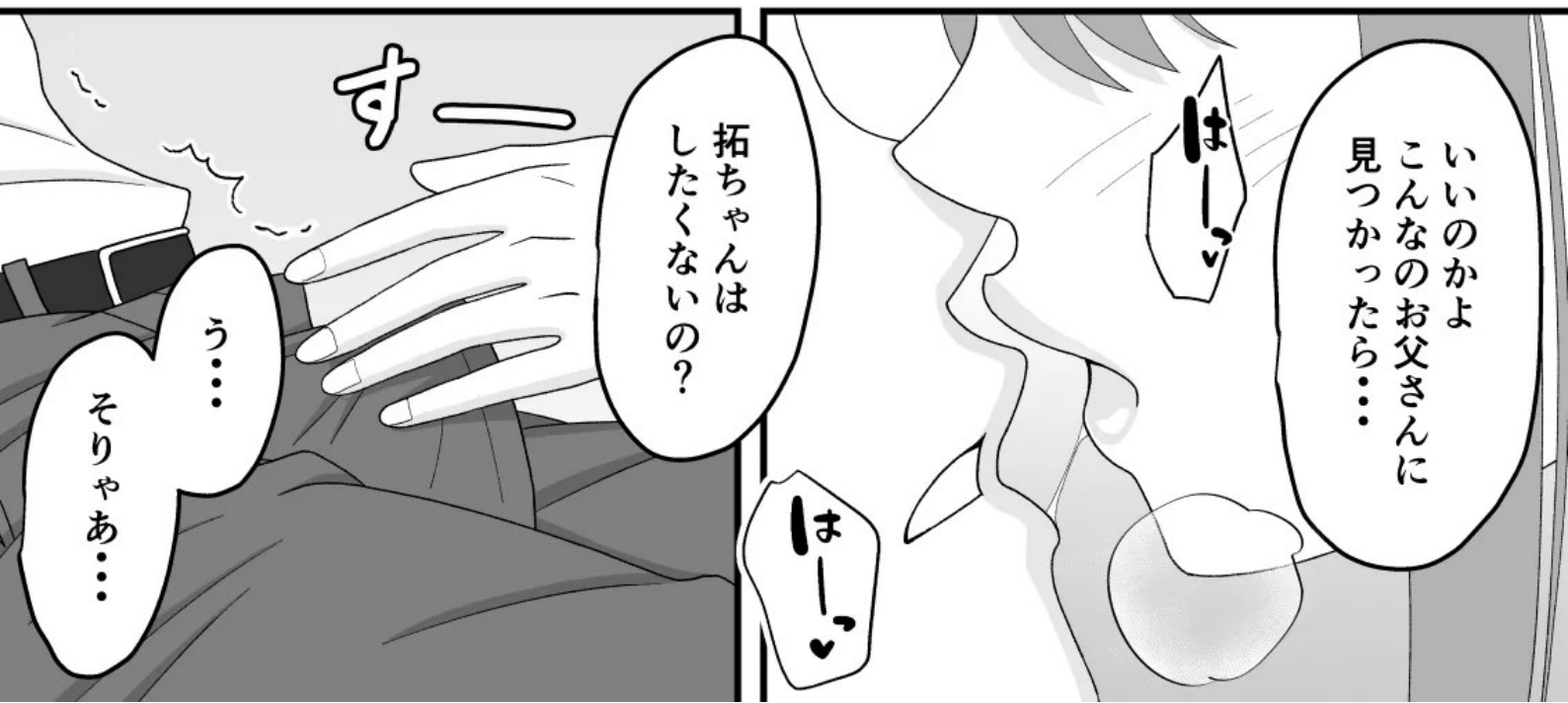

なっ…
助けてくれたお礼…
嫌だった？


ずっと・・・
ずっとりおの事が好きだったんだ！
最近話せなかったのはりおは知らない間にどんどん人気になっていてってゆうか・・・
周りの目もあって話しかけづらかったってゆうか・・・
あ、いやだから・・・りおが嫌じゃなかったら
また昔みたいに仲良くしたいってゆうか・・・
できれば付き合ったりできればなとか・・・思ってる


ふふっ
そう思っているのが私だけじゃなくて良かった
へ？
りおも同じ気持ちでいてくれた事がめちゃくちゃ嬉しかった


りおはすごく甘えん坊で少し気が強くて・・・
簡単に言ってしまえば小さい頃から何も変わってなかった
最近、避けられている気がしてたから嬉しい
周りの事なんてなにも気にする必要なんてないのに・・・
俺が勝手に遠ざけていただけだったんだ
そして何より・・・


めちゃくちゃ
エロかった
今日、夜まで誰も
帰ってこないから・・・
最後までしよ♡
・・・りお
ちゅっ♡
ちらっ


いいのかよ
こんなのお父さんに
見つかったら・・・
はーっ♡
拓ちゃんは
したくないの？
すー
う・・・
そりゃあ・・・
はーっ♡

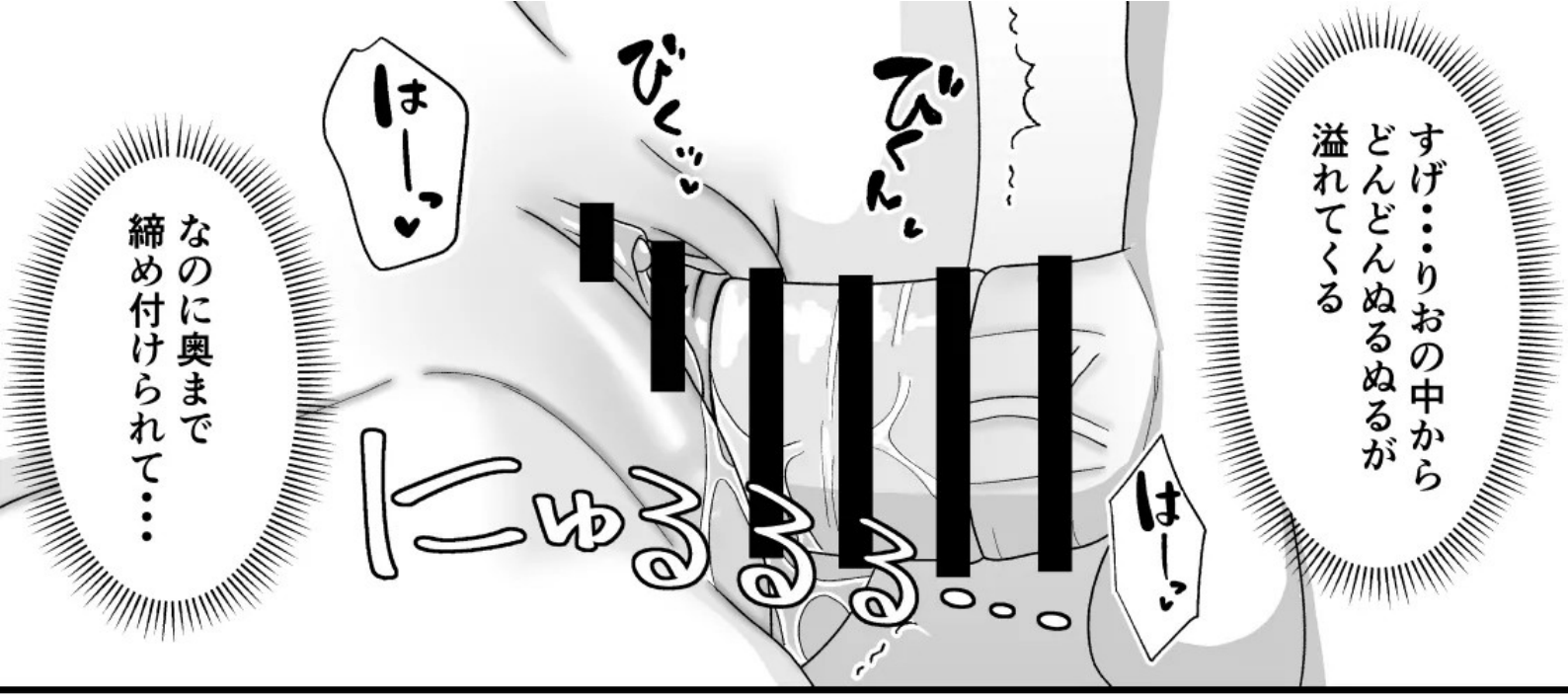

付き合って1ヶ月後に
俺達はお互い初めての
セックスをした
ドキ
ドキ
私、初めてだから
優しくしてね
いや、俺も・・・
初めてだから・・・
優しくするようには
努力する・・・けど・・・

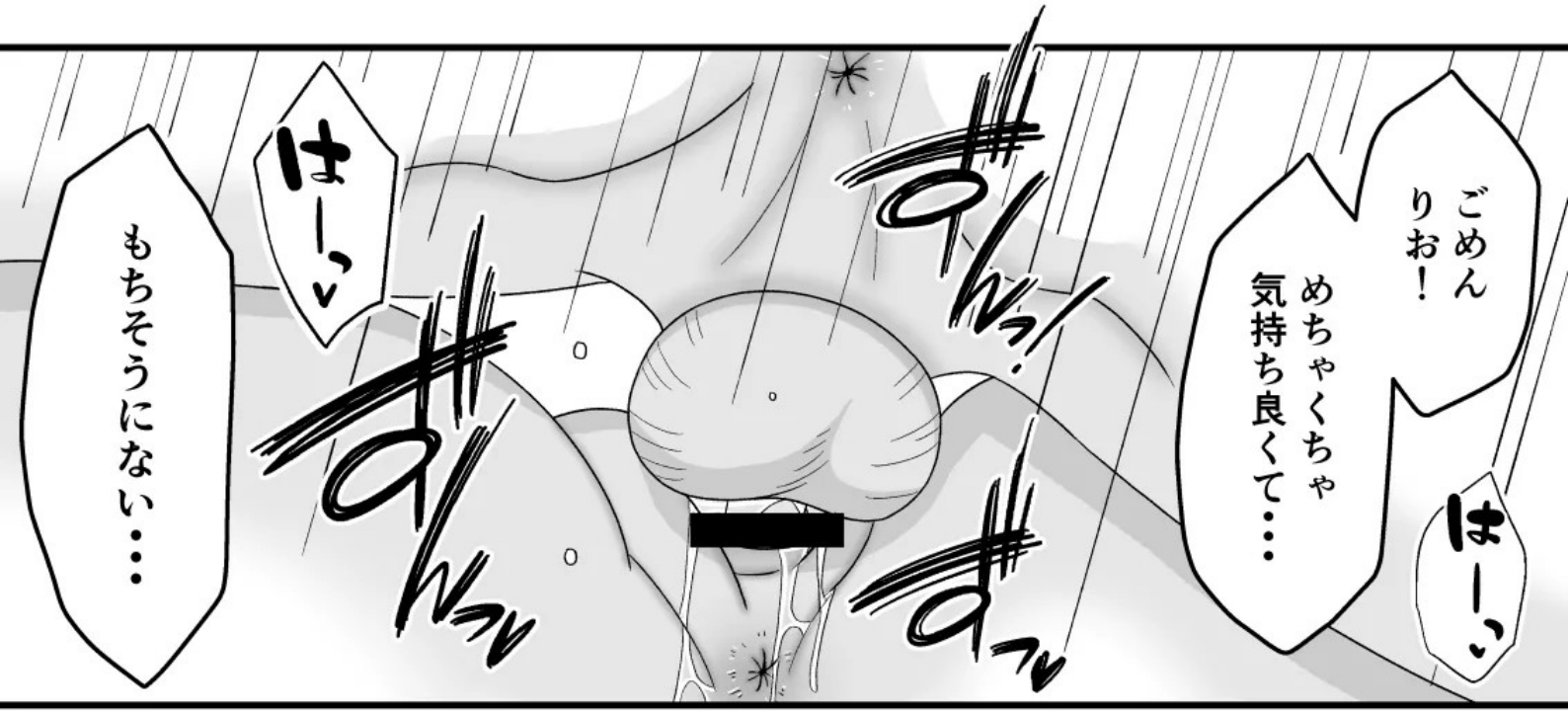

はーっ
あっ
ぷるっ
何度も妄想した
りおの身体
れろ
れろ
はーっ
むにゅ
びくっ
くりっ
ベロォ
ああっ
実際に見ると
破壊力やばい・・・
はーっ
ちょっと拓ちゃん
そこは・・・
汚いからっ・・・
ちゅ
れろ
れろ
びくっ
ああっ
りおの身体に汚い
ところなんてないから


ぞくぞく
んっ・・・
・・・拓ちゃん
もう・・・
十分濡れてるから・・・
とろぉ
挿入れてみよ
飯塚に貰ったやつ
とっといて良かった
拓ちゃんの
エッチ♡
っつ・・・
ドキ
ドキ
ちょっと怖いから
ゆっくり挿入れて・・・
ゆっくりね・・・
りおの膣内に俺の
ちんこが入る・・・


ずぷぷぷ…
あ
あっ
なんだこれ…
刺激が…
りお！
大丈夫か？
はーい
はーい
だい…
じょうぶ…
やっと繋がれたね
拓ちゃん♡
私ね…
小さい頃からずっと
拓ちゃんの事が
好きだったの…
りお…

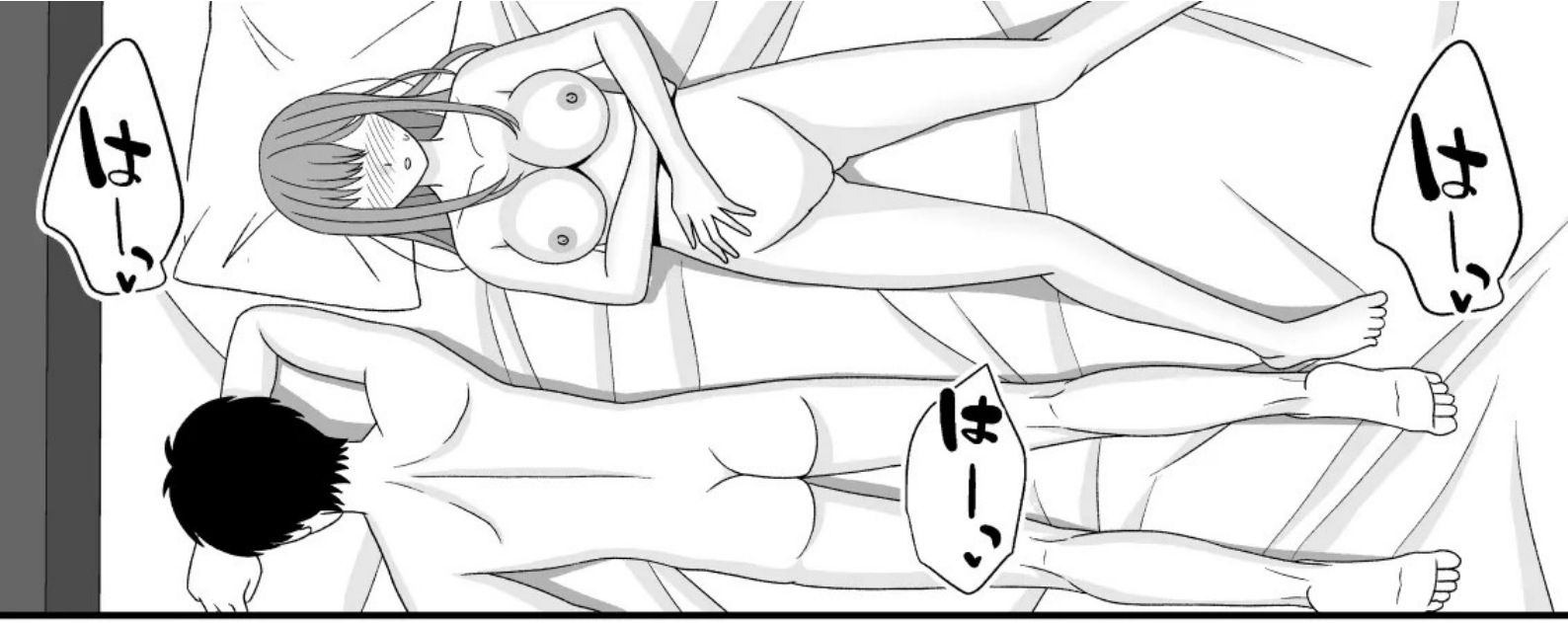

俺と・・・ずっと
一緒にいてほしい
俺もっ
俺も好きだ！
んぉ
いきなり
激し・・・
おっ♡
たっ・・・
拓ちゃん
おぉ♡

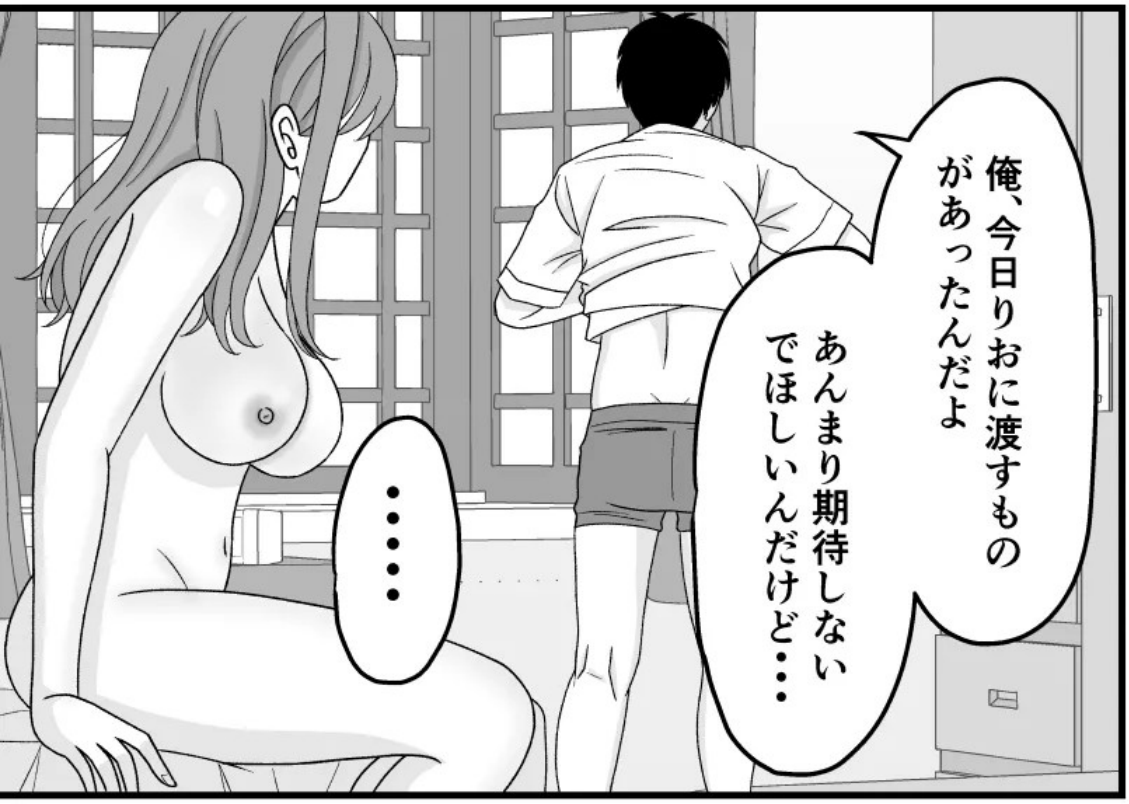

すげ・・りおの中から
どんどんぬるぬるが
溢れてくる
びくん
びくっ
はーっ♡
にゅるるる・・・
はーっ♡
なのに奥まで
締め付けられて・・・


ごめん
りお！
めちゃくちゃ
気持ち良くて・・・
はーっ♡
はーっ♡
もちそうにない・・・


イクよ
りお！
うん・・・
きて・・・♡

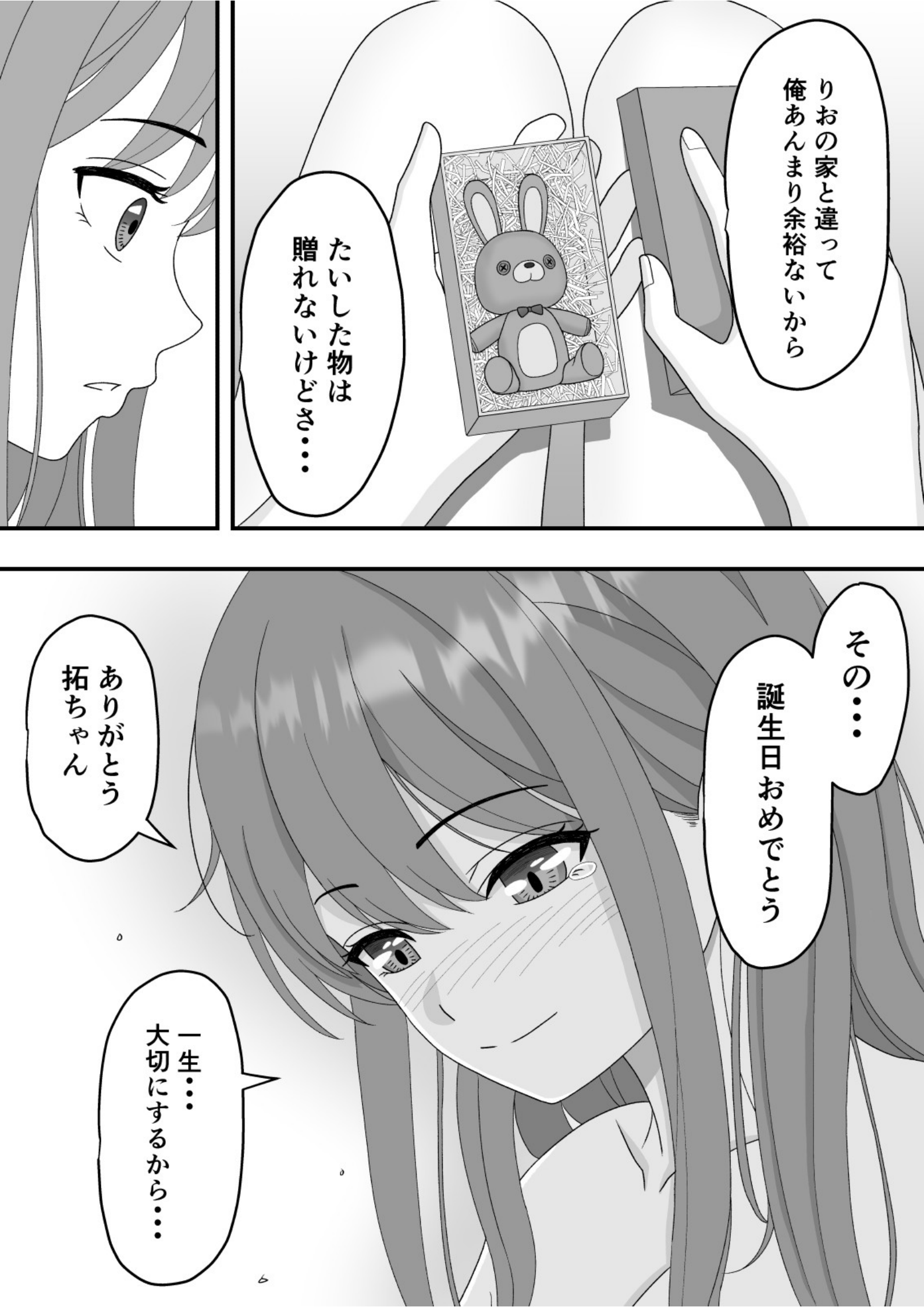

ビク…♡
ビ？♡
ビ？♡
びゅー
びゅ


はーい
はーい
はーい


俺、今日りおに渡すものがあったんだよ
あんまり期待しないでほしいんだけど・・・
・・・・

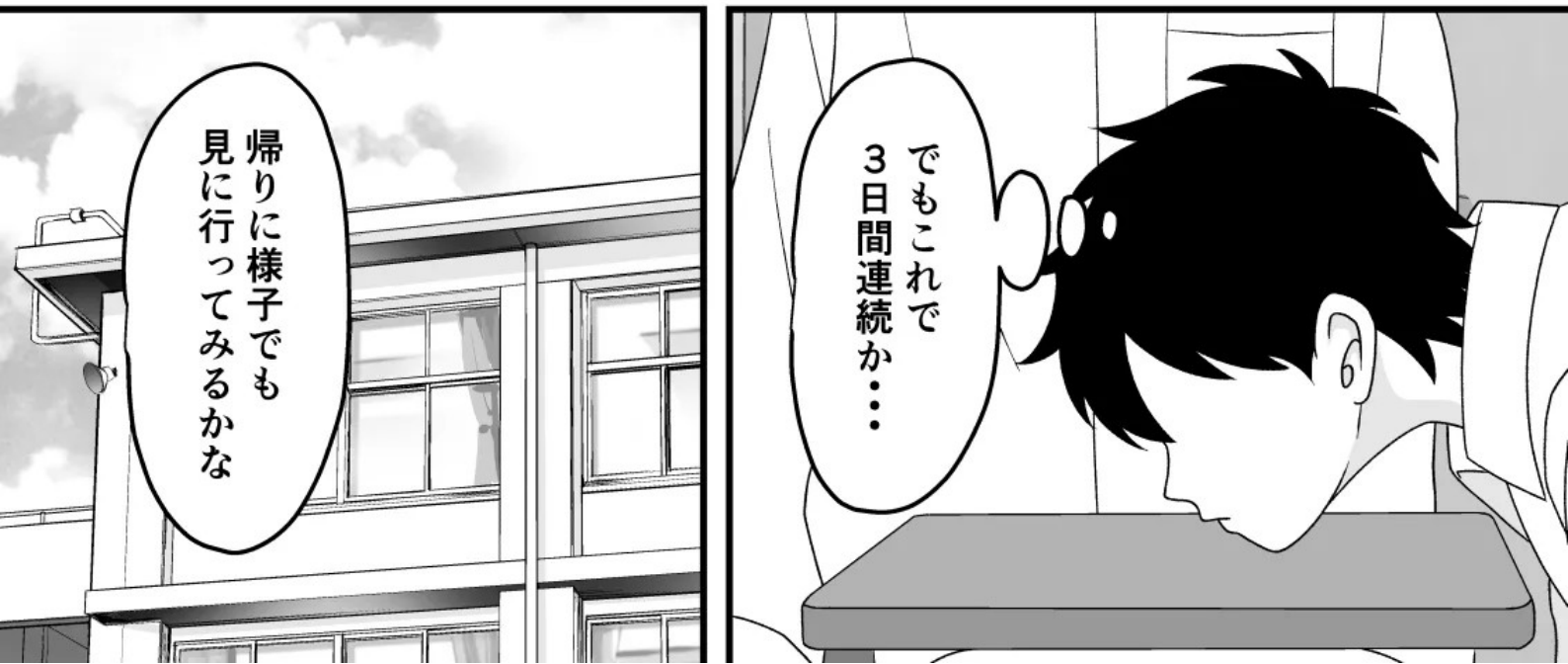

やば・・・
もうこんな時間・・・


明日、誕生日だろ？
明日は家の事情で会えないって言ってたからさ
これ・・・


りおの家と違って
俺あんまり余裕ないから
たいした物は
贈れないけどさ・・・
その・・・
誕生日おめでとう
ありがとう
拓ちゃん
一生・・・
大切にするから・・・


あれから半年・・・
幸せな時間は
あっという間に過ぎ
異変は突然訪れる
3 - B
卒業を控えた2月ごろから
りおが休みがちになって
いったんだ


あれ？お前
今日も一人？
最近
多くない？
今日も欠席
らしい・・・
か～～
せっかくクラスのマドンナ
と付き合ってるのに
さみしいね～
ほっとけ

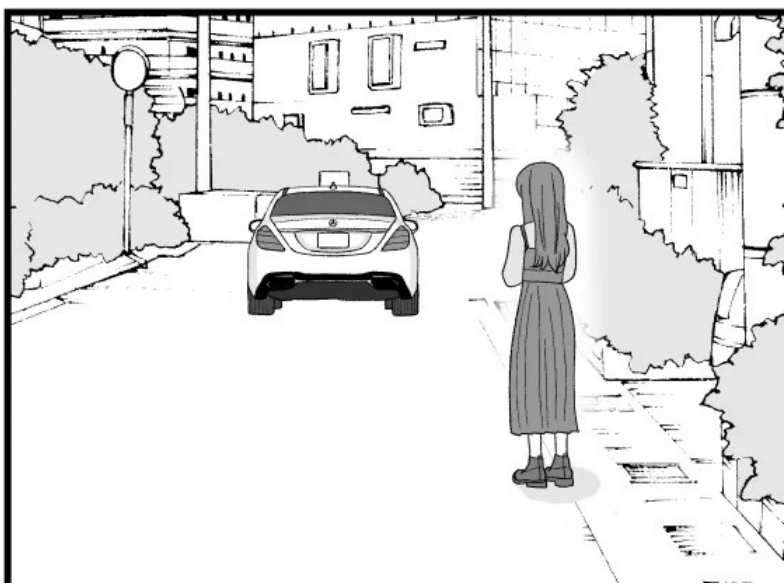

でもこれで
3日間連続か・・・
帰りに様子でも
見に行ってみるかな


りお・・・
ありがとう
ございました
あー
いいのいいの
また誘うから



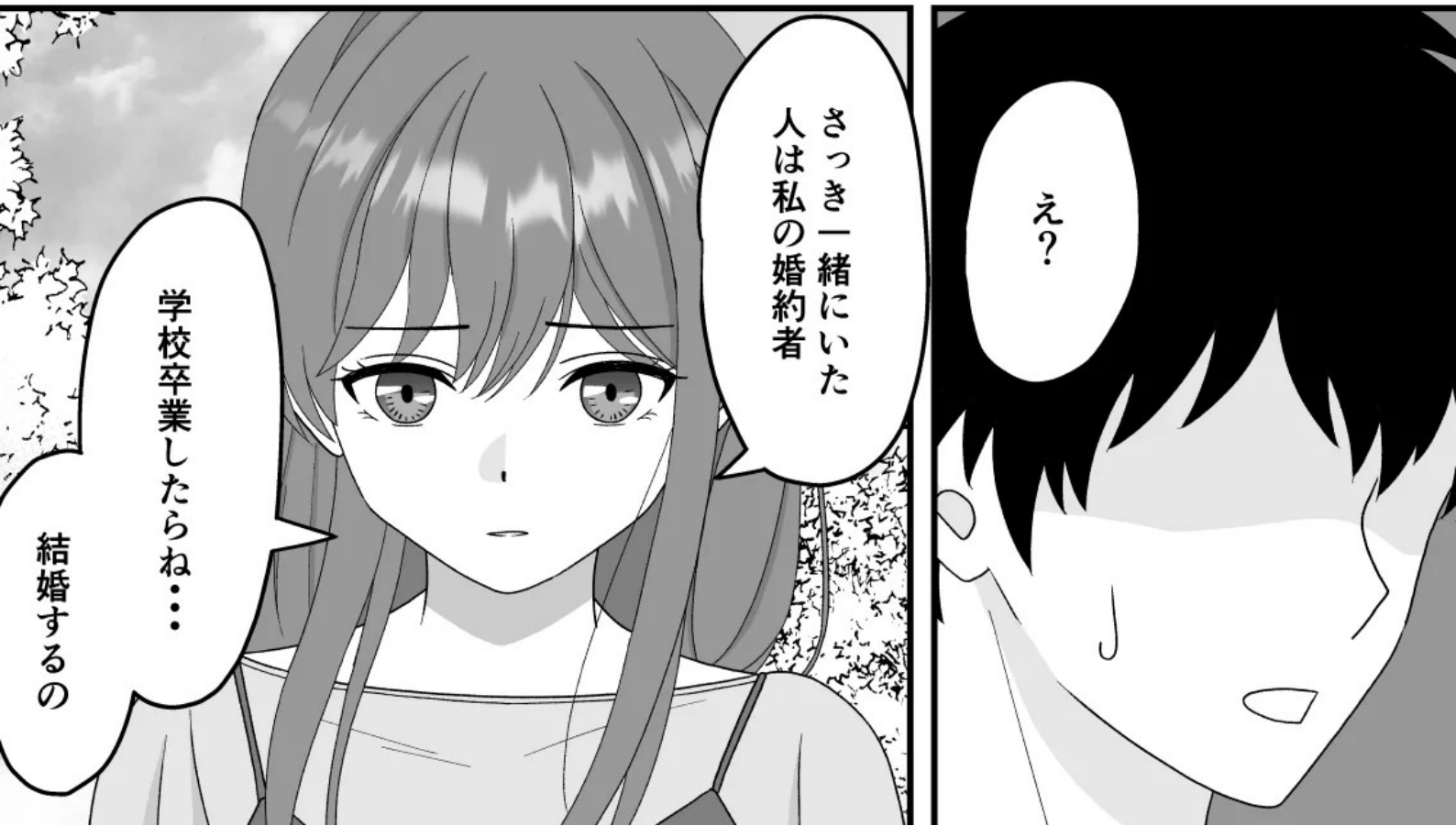

拓ちゃん・・・


誰だあの男




最近、学校休みがち
だから心配してたんだよ
病気とかじゃ
なくて良かった
ラインで説明
したでしょ？
そうだけどさ
さっき一緒に
いた人だれ？
・・・
拓ちゃん
あのね・・・


急すぎてりおの言葉が
すぐには理解できなかった
ピクッ
私、好きな人が
できちゃったの


え？
さっき一緒にいた
人は私の婚約者
学校卒業したらね・・・
結婚するの


い…
いつから？
婚約の話はずいぶん前からあったんだけど
最近親しくなって
それで…
私のお家よりぜんぜんお金持ちでね…
あの人卒業したら大きな会社の取締役になるんだって
玉の輿ってやつ？
だから最近休みがちだったのか
だから…


だから・・・
私のことは忘れて
拓ちゃん

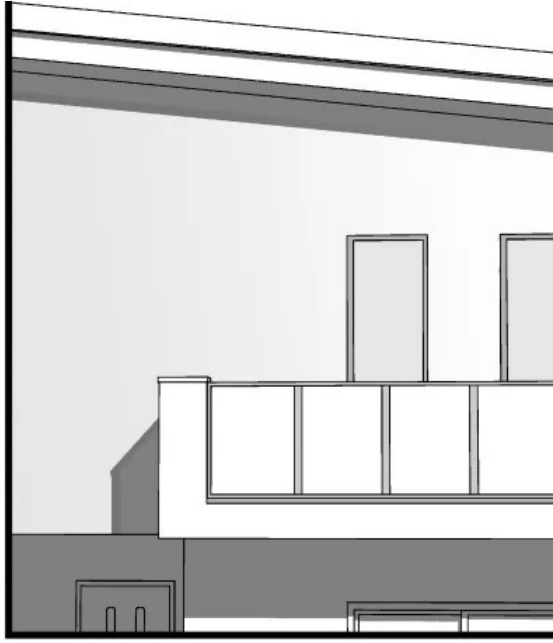

ちょっと待って！
急にどうしたんだよ！


自分勝手でごめんね
今までありがとう


こんな終わりかた
ないだろ！
好きだから！
昔も今も、これからも
ずっと俺はりおの
ことが好きだから！
ごめんね・・・


あらら
斎藤今日も
休みなのかよ
その名前は
出さないでくれ
まじ!?
・・・別れた
え?
だってどっちかって
言ったら斎藤のほうが
乗り気だったじゃん
好きな人が
できたらしい
あんなにお前に
ゾッコンだったのに!?
女心ってわからねーな
やっぱり
帰りにカラオケ行って
ぱーっとやるか?
気持ちは嬉しいけど
そんな気分には
なれないんだよな~

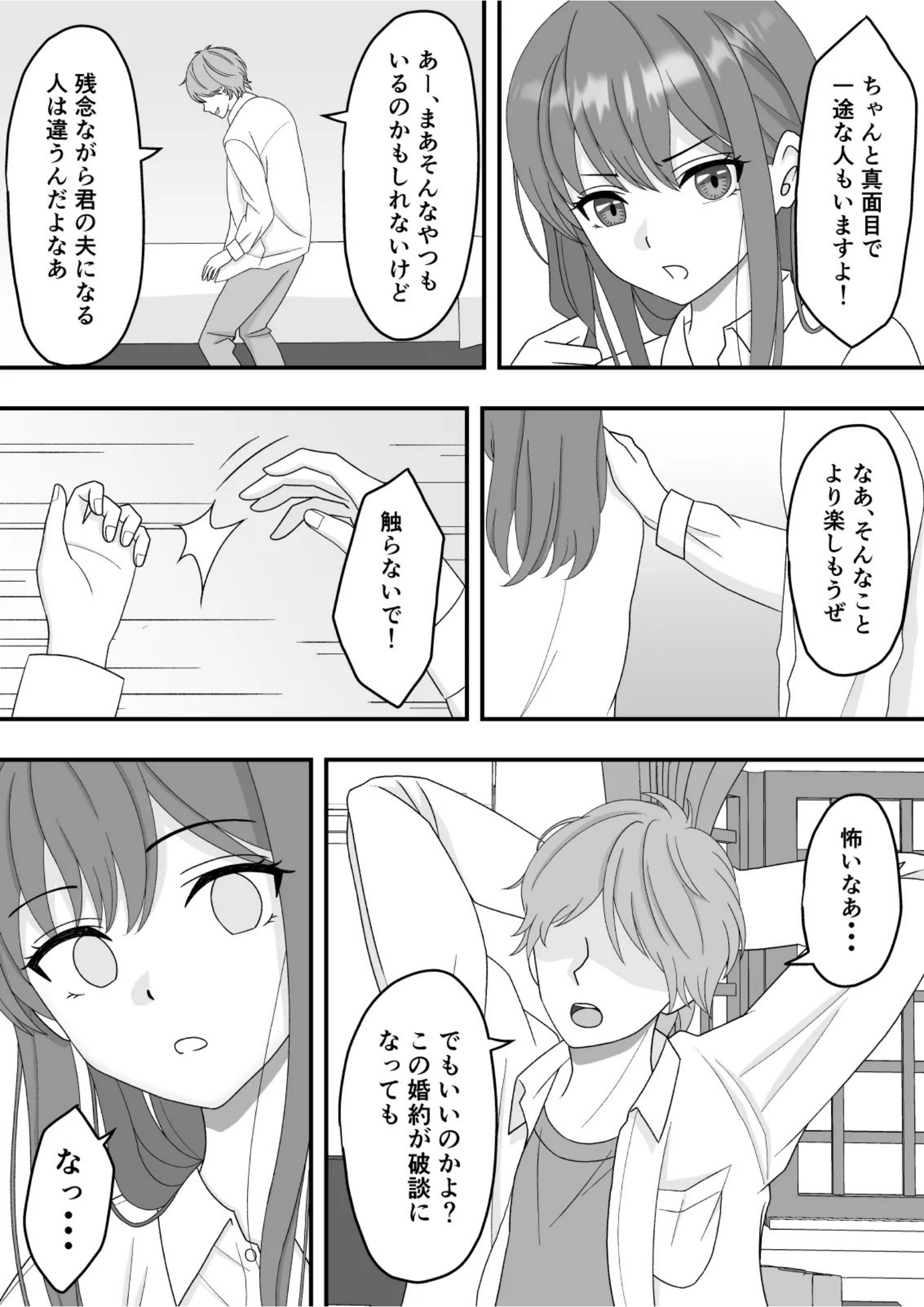

もっと傍においでって
結構です

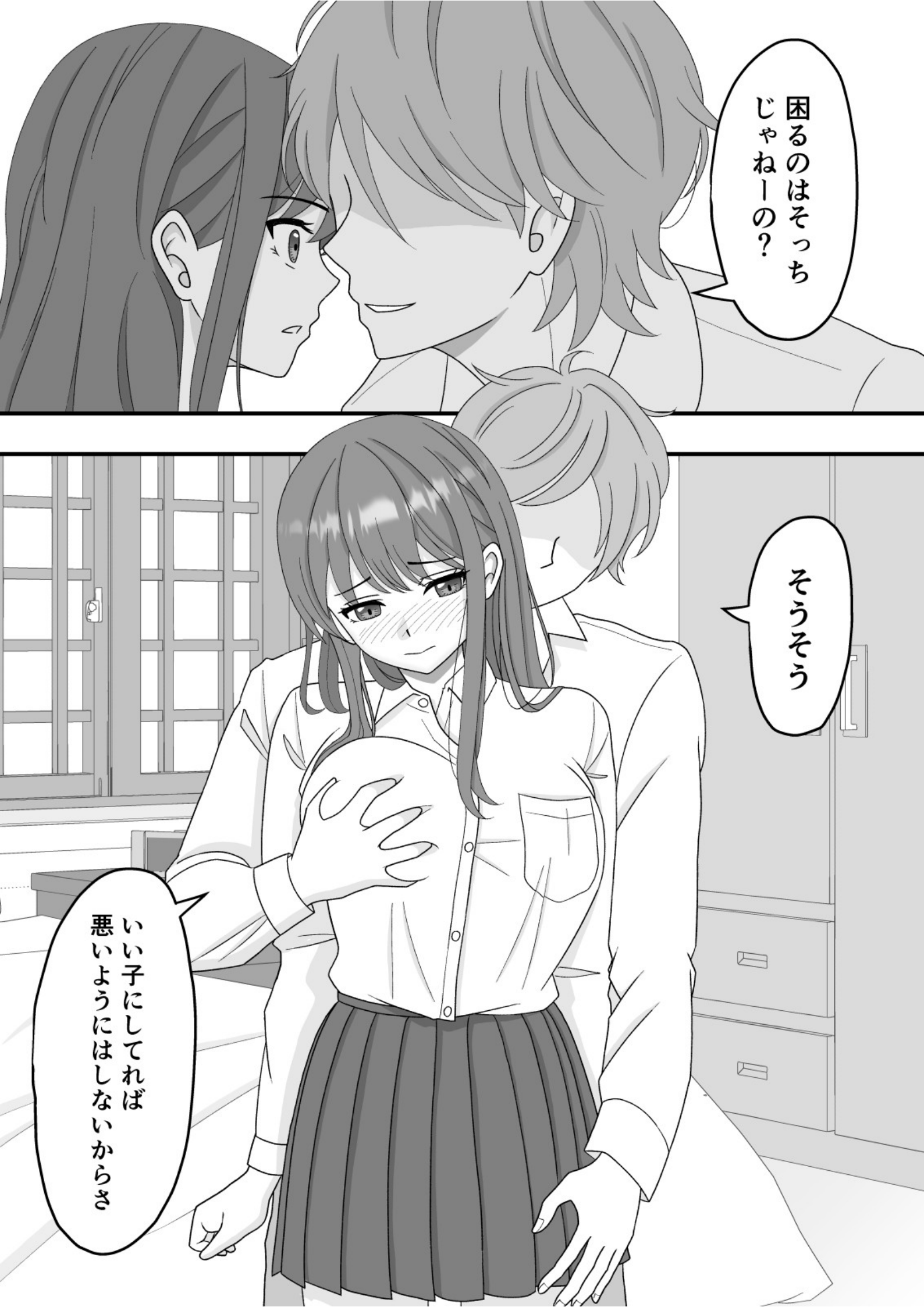



冷たいねえ
お互い親が決めたとはいえ俺達結婚するんだぜ
もう少し懐いてくれてもいいんじゃねーの？


ヒロトさんはそれでいいんですか？
大学ではずいぶん女遊びしてるって聞いてますけど


ああいいのいいの
俺、下半身と上半身は別の生き物だから
最低ですね
いやいや、男なんてそんなもんだぜ
俺が正直に言葉にしているだけで、中身ではみんな同じような事考えてるから
そんなこと！

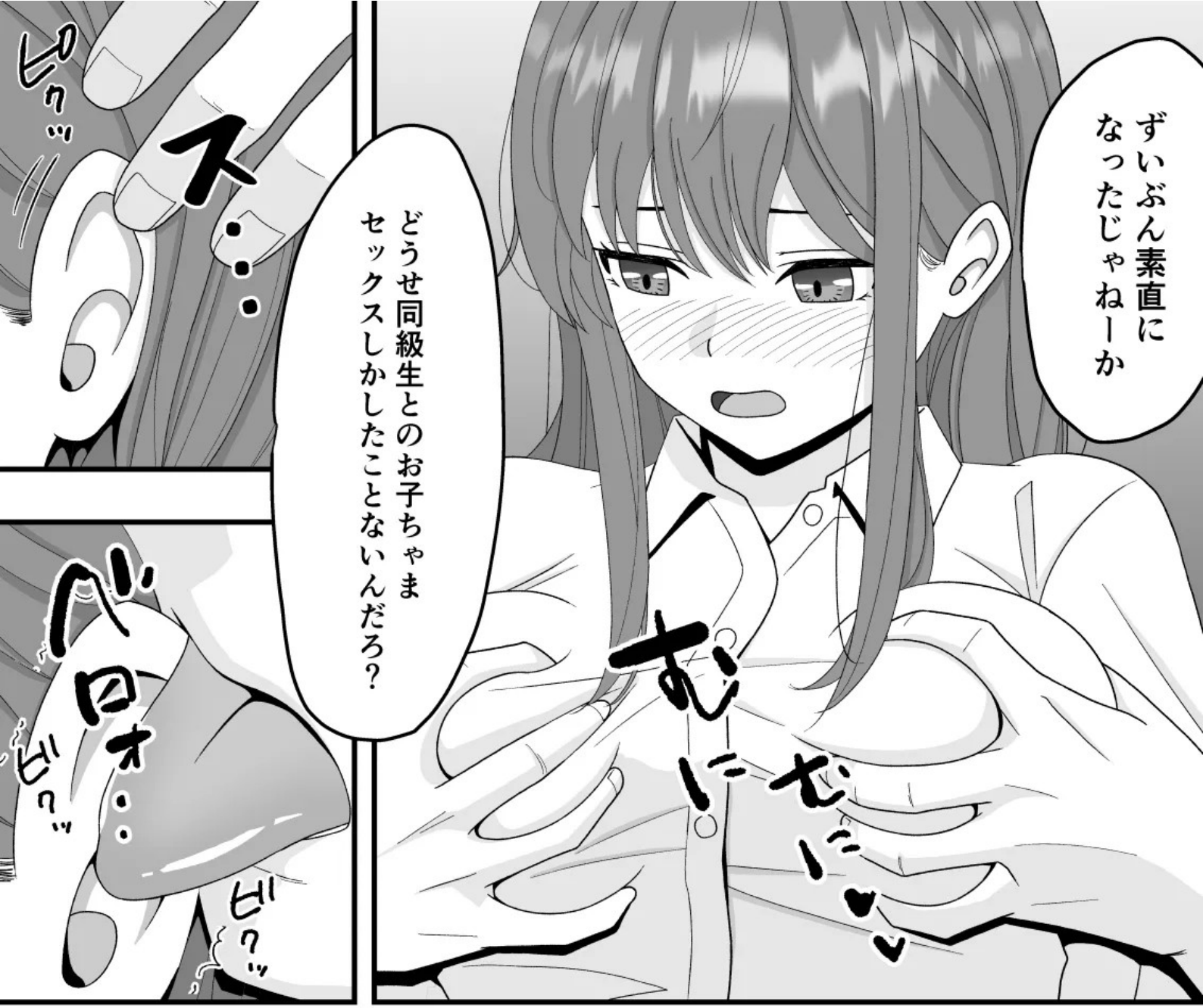

ちゃんと真面目で
一途な人もいますよ！
あー、まあそんなやつも
いるのかもしれないけど
残念ながら君の夫になる
人は違うんだよなあ
なあ、そんなこと
より楽しもうぜ
触らないで！
怖いなあ・・・
でもいいのかよ？
この婚約が破談に
なっても
なっ・・・


困るのはそっち
じゃねーの？
そうそう
いい子にしてれば
悪いようにはしないからさ


飯塚
メッセージを送信
あとで通知
応答
拒否
ブーン
ブーン
ブーン
もしもーし
どうしたんだよ
カラオケなら行かな・・・
どうしたも
こうしたもねーよ
すげえビッグニュースが
飛び込んで来てさ
早くお前に知らせ
なきゃって思って
斎藤だよ
斎藤りお！
お前が振られた理由
がわかったんだよ
なんだそれ
どういう事だよ
ピッ


先月、斎藤の会社が不渡り出してさ
倒産寸前だったところを大手の商社が買い取る事で倒産を免れたらしいんだけど
その買収の条件っていうのが商社の御曹司と斎藤との結婚だったらしいぜ
なっ
俺の先輩とその御曹司が知り合いでさ
直接本人から聞いたっていうんだから間違いねーよ
婚約が決まった時にはお互い顔も知らなかったらしいぜ
政略結婚ってやつだよ
かわいそうに会社と家族の命運がかかってんだから断れないよなあ・・・
そんなの間違ってる！
ダン！


止めなくちゃ
はーっ
俺はバカだ！
はーっ
りおにあんな顔させるまで・・・
なんで気づなかったんだ
りおが望まない
結婚をさせられる！
おーい！
もしもーし！
それだけは止めなくちゃ

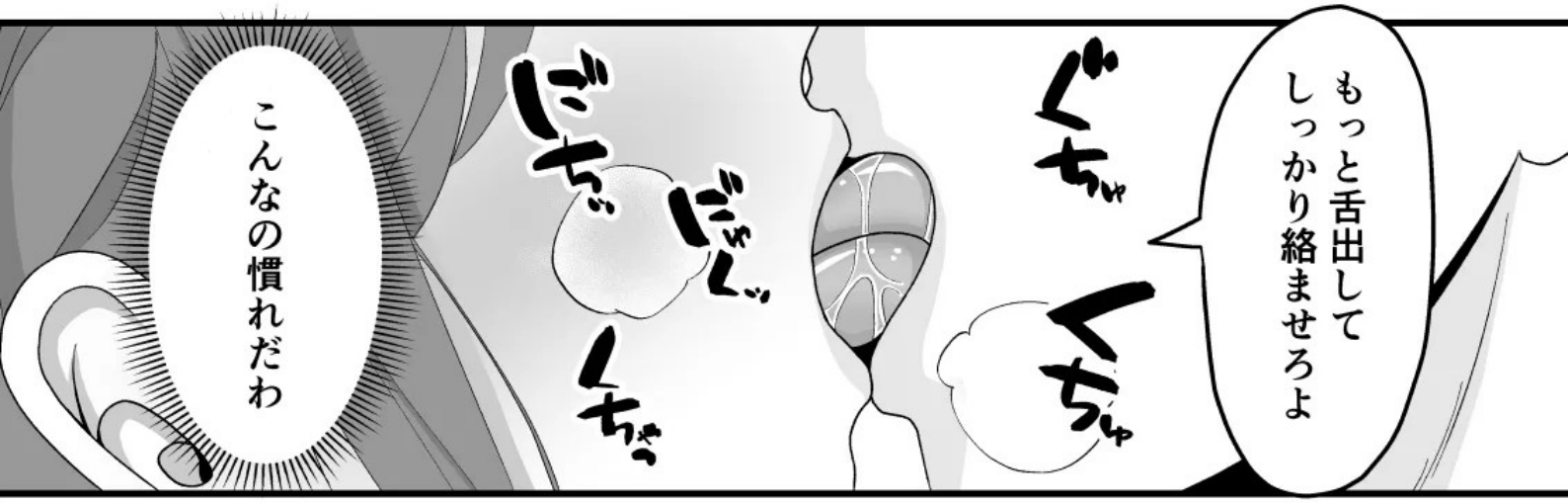

ずいぶん素直になったじゃねーか
どうせ同級生とのお子ちゃまセックスしかしたことないんだろ？
ピクッ
ス…
ペロォ…
ビクッ
ビクッ
むにむにむにー♥

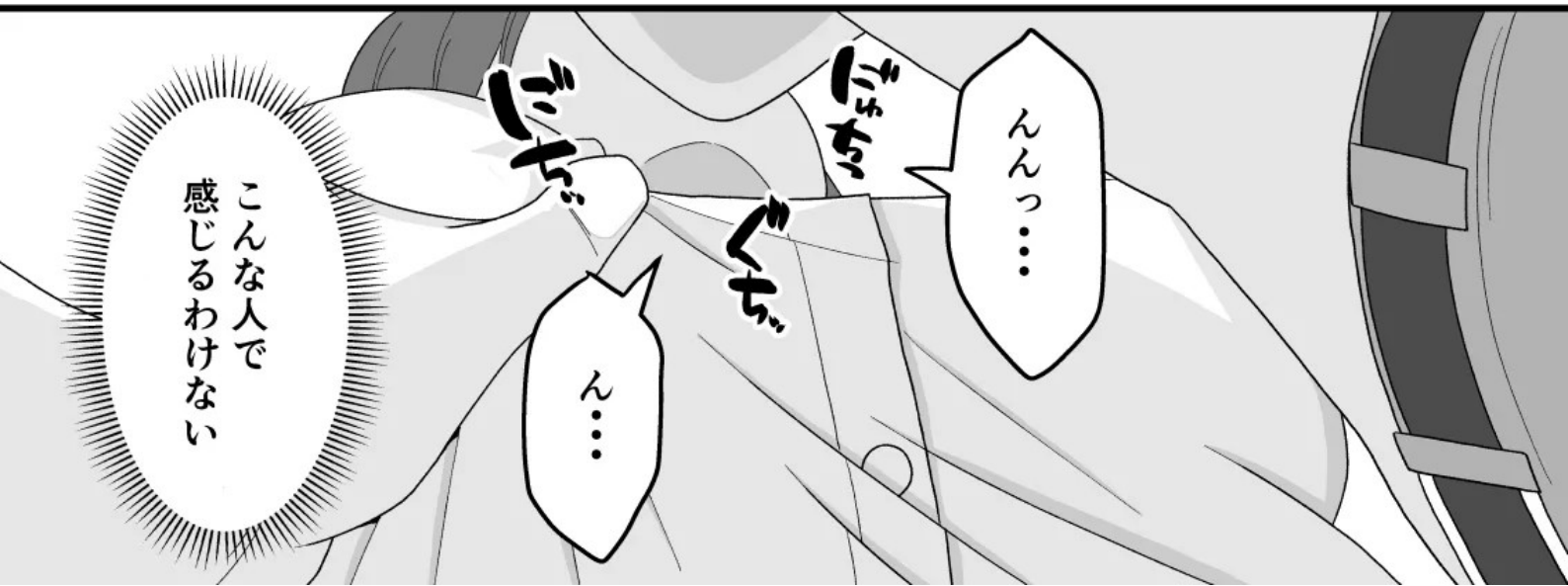

俺が身体が疼くような本当のセックスを教えてやるよ
…
むにゅ
むにー
好きにすれば？


そうやって余裕ぶっていられるのも今のうちだからな
数分後にはヒロトさんのちんこ挿れてくださいって懇願するようになってるから
この人バカじゃないの
好きでもない人とのセックスなんて苦痛でしかないのに
ちょっと・・・
感じるわけない
ぞくぞく・・・
べろ・・・


なっ
クイッ
や・・・
キ・・
キスは・・・
カバッ
んんっ！
おいっ
口開けろ
れろ
れろ
れろ
れろ
ん～っ！

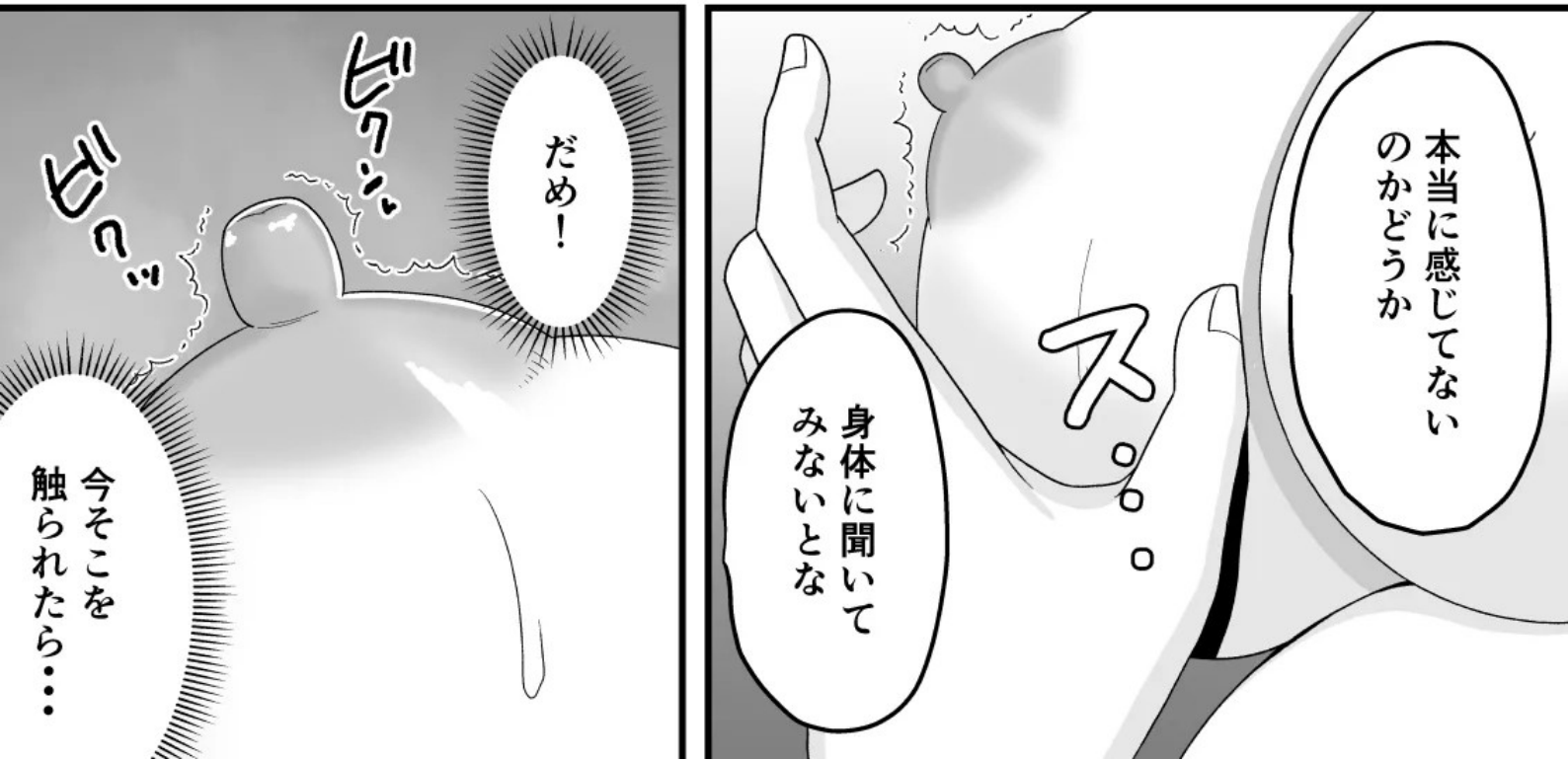

大丈夫
んっ…
じゅぢ
じゅぢ
じゅぢ
んん〜っ！
少しの間我慢するだけ


もっと舌出して
しっかり絡ませろよ
ぐちゃ
ぐちゃ
ぐちゃ
ぐちゃ
こんなの慣れだわ

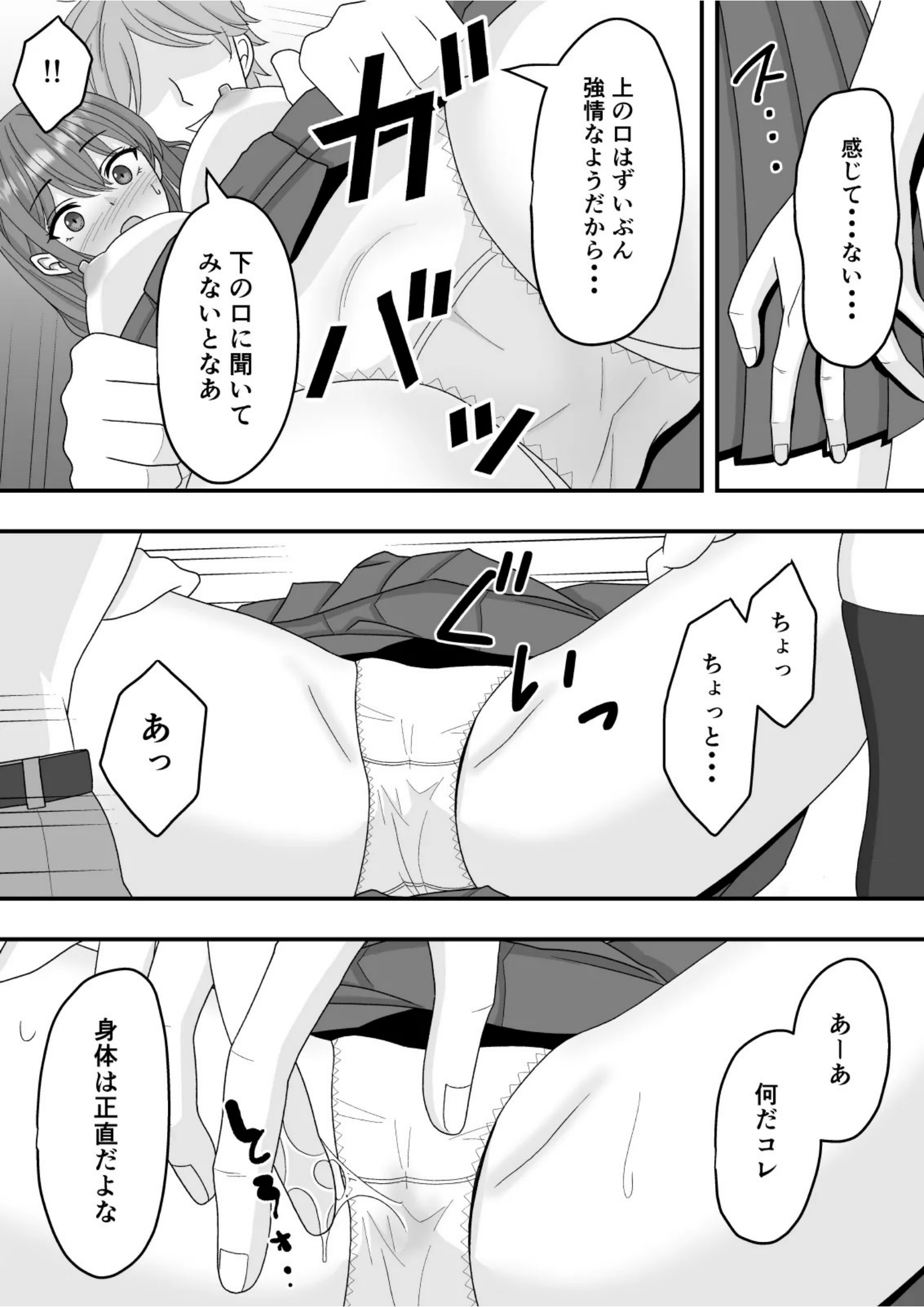

んんっ…
ぐちゃ
ぐちゃ
ぐちゃ
ん…
こんな人で
感じるわけない


乳首コリコリしてきたな…
お前感じてるだろ
こり
くり
んっ…
そんな事…
…ない
ほう
んんっ！
そうかそうか
カリ
なんなのこの人
乳首ばっかりこんなにねちっこく
誰に遠慮してるのかわからないけど
まあ、せいぜい頑張れよ


おー、でかいとは思ってたけど
はーい
はーい
こりゃ想像以上だわ
あっ
さてと・・・
ぐりぃ・・・
ぶるんっ


本当に感じてないのかどうか
ス・・・
身体に聞いてみないとな
ビクッ
ビクッ
だめ！
今そこを触られたら・・・

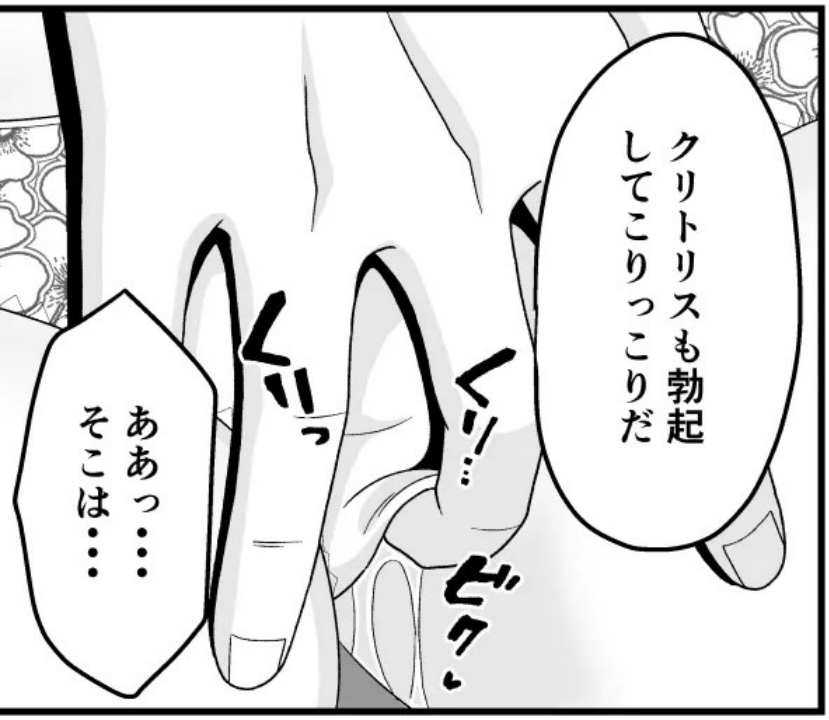

んんんんっ！
おいおい
腰が浮いちゃってるぞ
くりっ
くりっ
くりっ
くりっ
くりっ
んーっ！
んんっ
うそ・・・
乳首だけでこんな・・・
あっ
まさか乳首だけで
感じちゃってるわけ
じゃないよなあ
ああ・・・

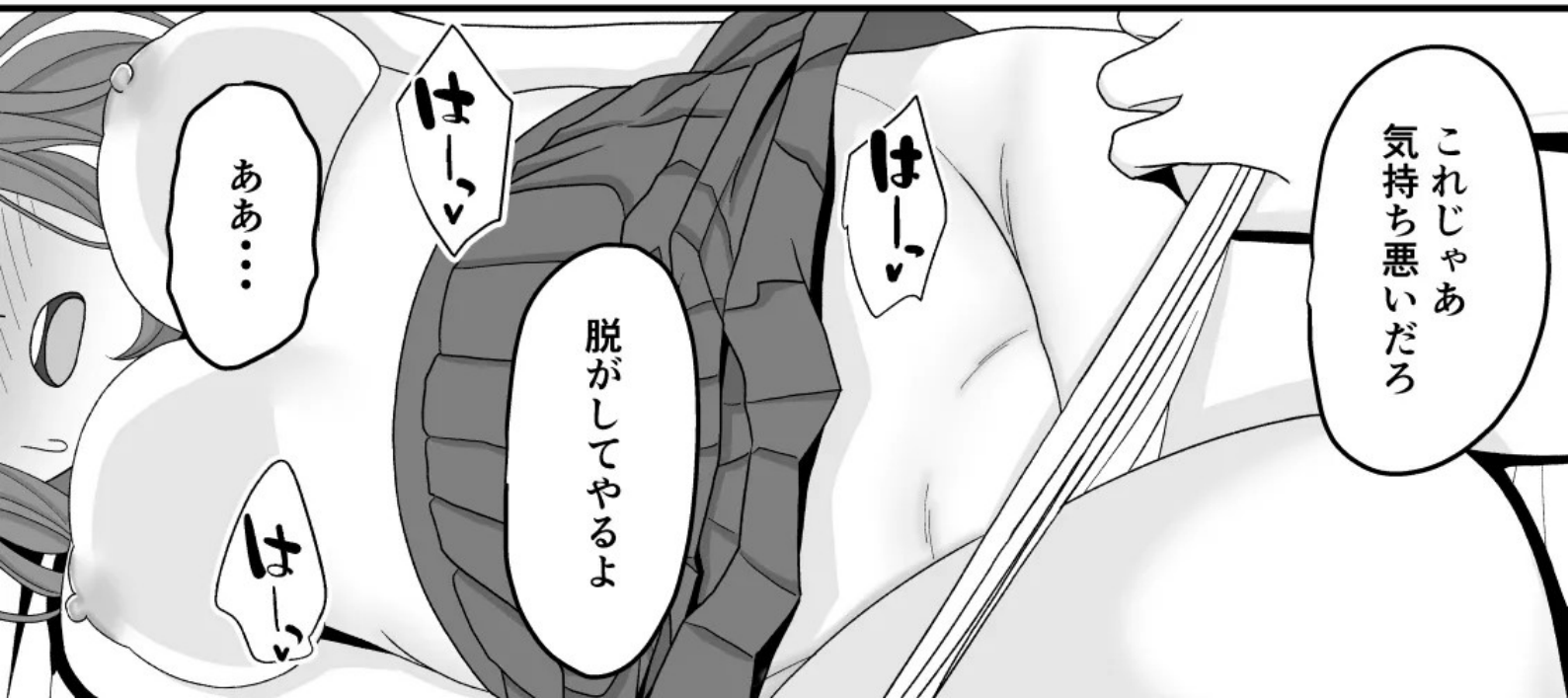

感じて・・・ない・・・
上の口はずいぶん
強情なようだから・・・
!!
下の口に聞いて
みないとなあ
ちょっ
ちょっと・・・
あっ
あーあ
何だコレ
身体は正直だよな

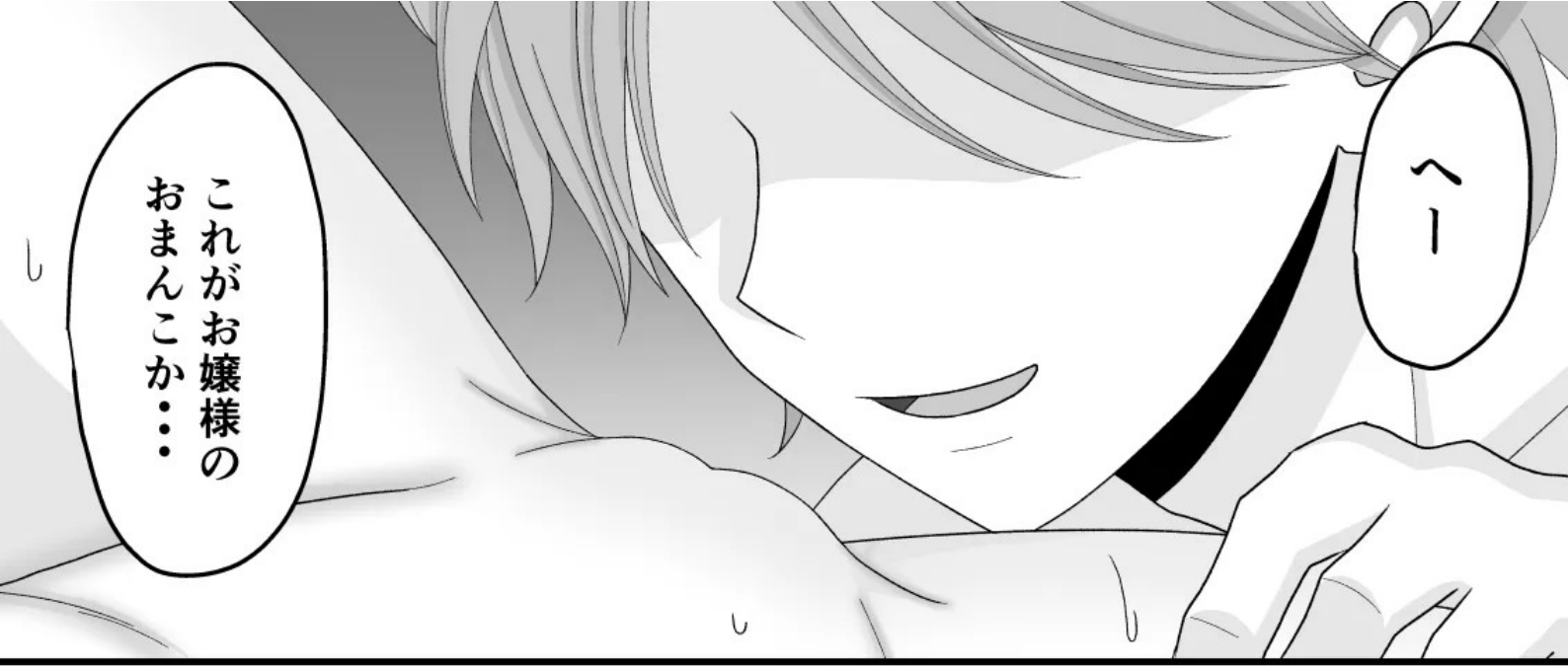

こっちもイジってほしいってヨダレ垂らしてるぜ
舐めたり
さわったりしてほしいんだろ？
なんなのこの人
身体が反応しちゃって頭がぼーっとしてくる
しょうがないなあ
いじってやるか
ああ・・・

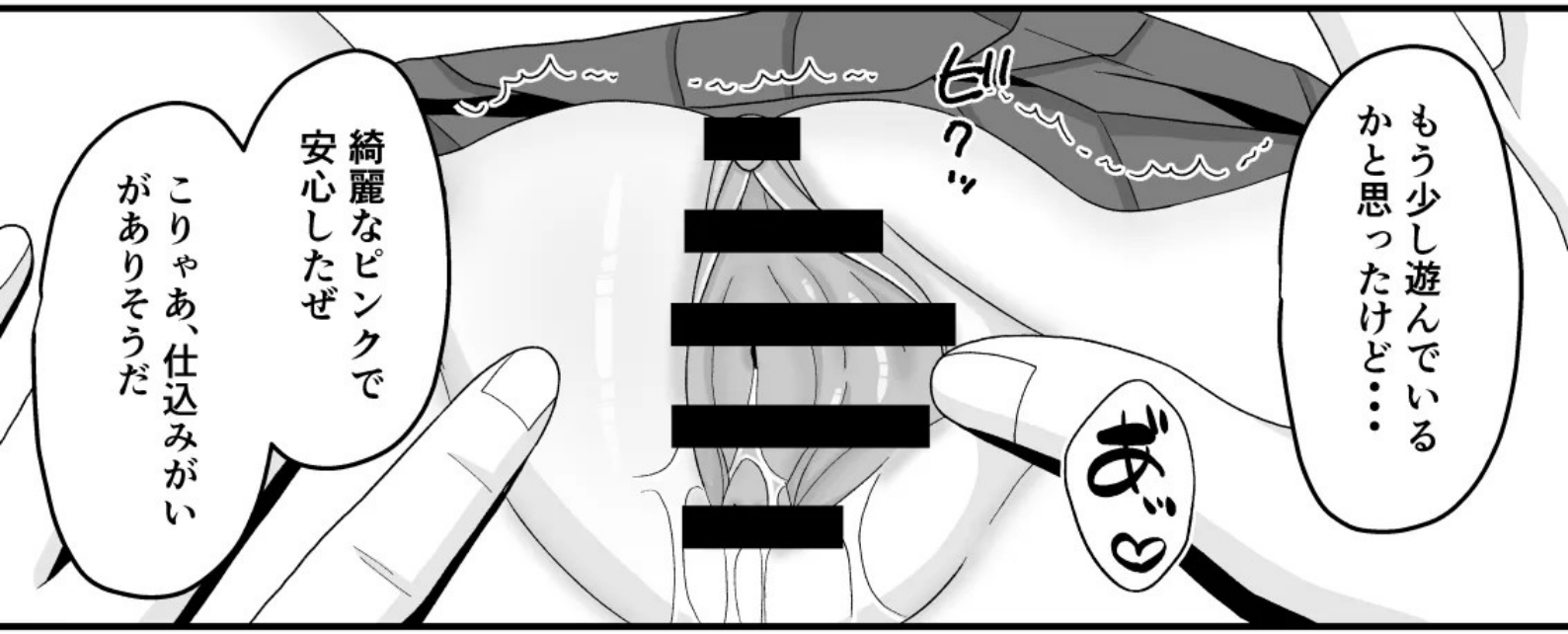

んんーっ！
ぐちゅ
ぐちゅ
くちゃ
おー
いい反応だ
焦らされたから
余計に感じちゃって
るのか？
ビクッ
ビクッ
くちゃ
くちゃ
そんな急に…
激し…


もうパンツ
ぐちょぐちょだな
くちゃ
んあ
ぐちゅ
くちゃ
お♡
くちゃ

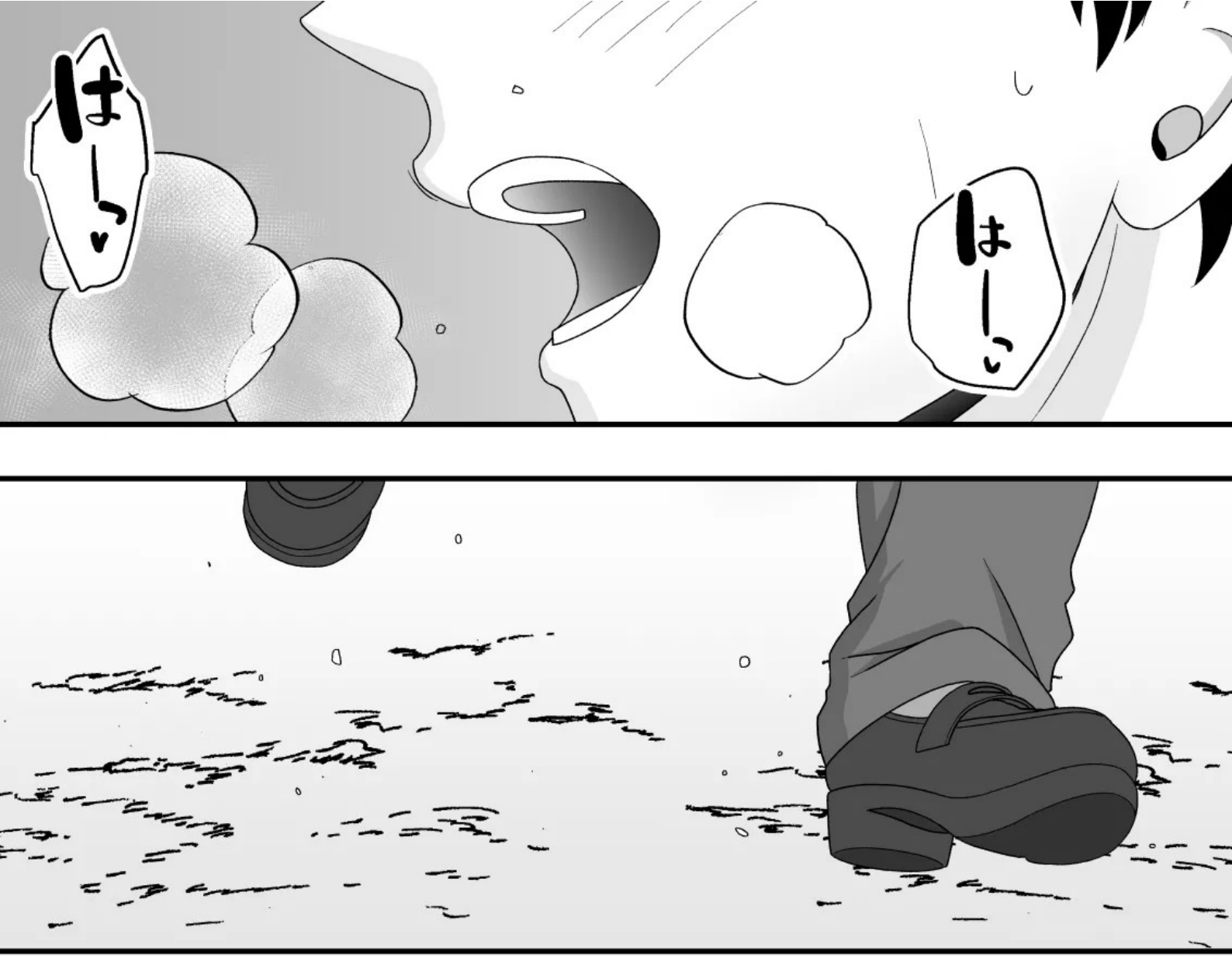

クリトリスも勃起
してこりっこりだ
くり…
くりっ
ビクッ
ああっ…
そこは…


これじゃあ
気持ち悪いだろ
はーい
はーい
脱がしてやるよ
ああ…
はーい


へー
これがお嬢様のおまんこか・・・


もう少し遊んでいるかと思ったけど・・・
ヒ!?
綺麗なピンクで安心したぜ
こりゃあ、仕込みがいがありそうだ
お゛♡


そんなに・・・
み・・・見ないで
この人の絡み怖い・・・
拓ちゃん助けて・・・


はーい
はーい


はーい
プルルル～…
プルルル～…
でない…
どこにいるんだよりお
はーい


夢中で家まで走って
きてしまったけど…
中にいるんだろうか…

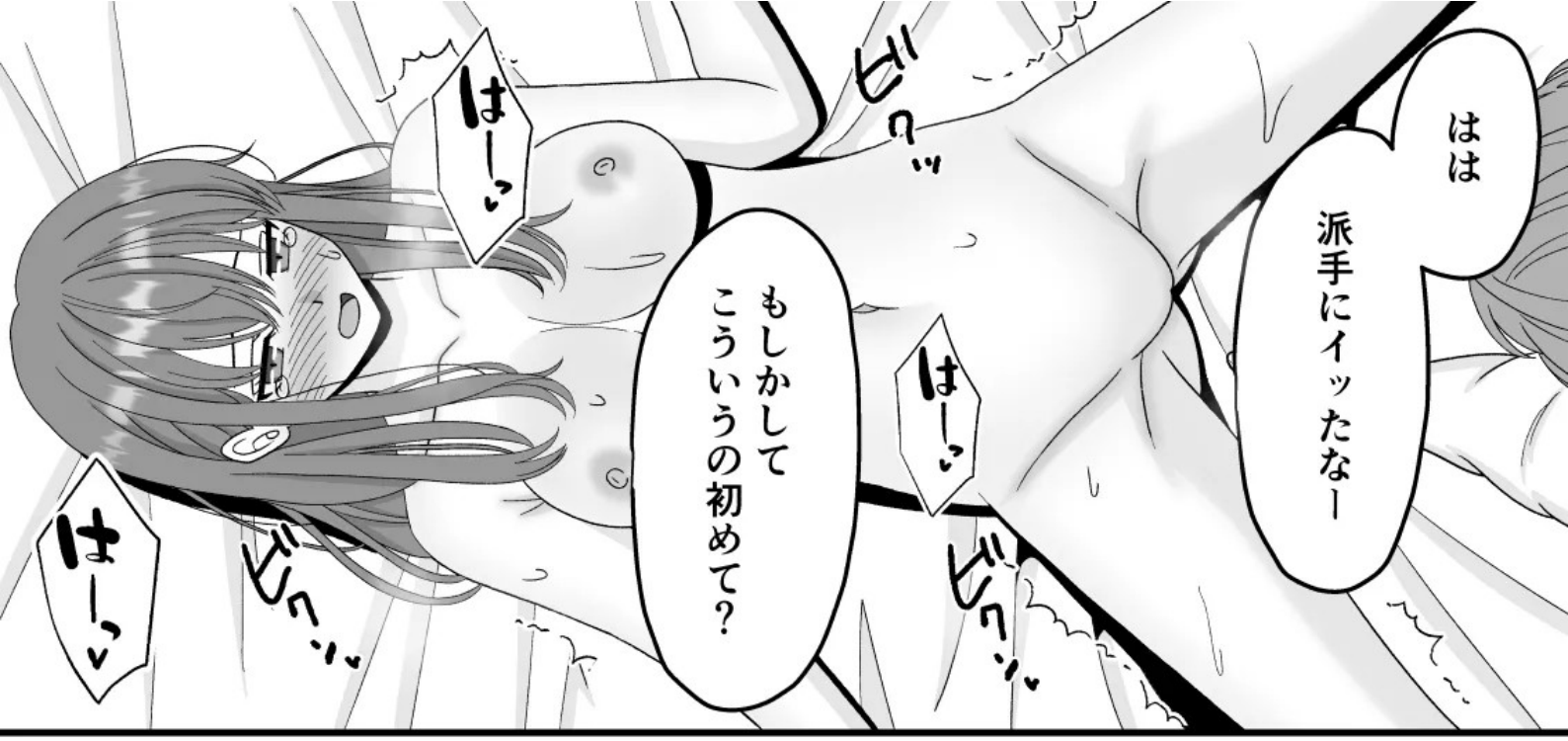

はーっ♡
んっ…ああっ
あっ
あっ
はーっ
れろ
くちゅ
はーっ
もう…
またイッちゃう…
ぐちゅ
ぐちゅ
れろ
くちゅ
れろ
はーっ
くちゅ


やっ…
なにこれっ…


おいおい
おっ♡
ぐりぐりぐりぐり…
こんなんでひいひい言ってたらもたないぜ
おっ♡


お嬢様はこういうの
やったことあるのかな？
ズゥゥー
んんんっ
ぐりっ
やっ
にちっ
くちゃ
ぐちゅ
はあっ・・・
なんか・・・
変な感じ
いつもと違う・・・
なにかくる
ぐちゃ
ぐちゅ
ぐちゃ
ぐちゅ
ぐちゃ


あっ
ごぢゅごぢゅ
やめ・・・
てぇっ！
くちゅ
あっ
だめっ
ぐちゅ
ぐちゅ
くちゅ
もうだめっ
くる！
ああっ
あっ
イっく・・・！
ビクン
ビクッ
ビクッ♥
やあああっ！

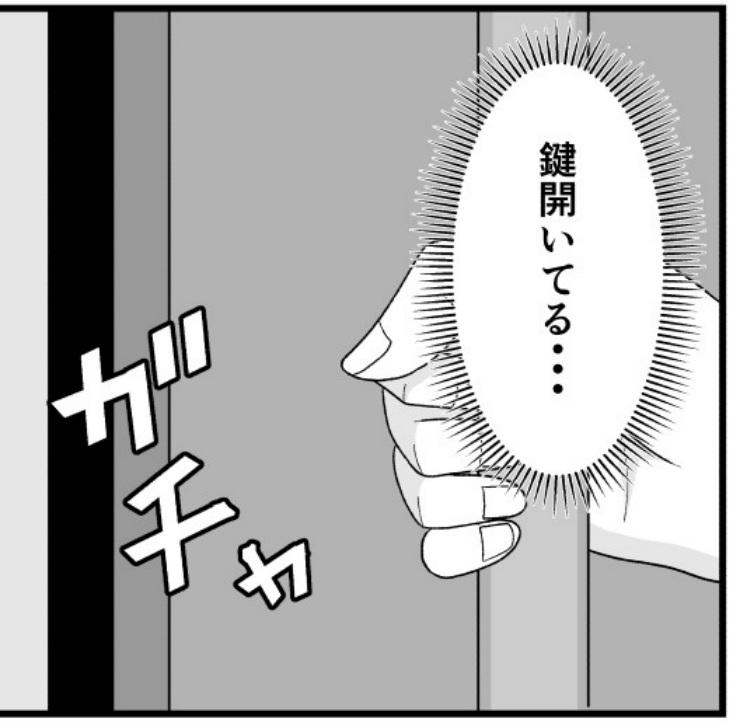

はは
派手にイッたなー
もしかして
こういうの初めて？
はーっ
はーっ
はーっ
ビクッ
ビクッ


水が漏れ出してる
穴には・・・
栓をしないと


なっ・・・
ちょっと待って
大きすぎる


そんなに大きいの
入らないわよ！
大丈夫だって
俺に任せとけ


ピンポーン
ピンポーン


鍵開いてる・・・
ガチャ


誰もいないのか？

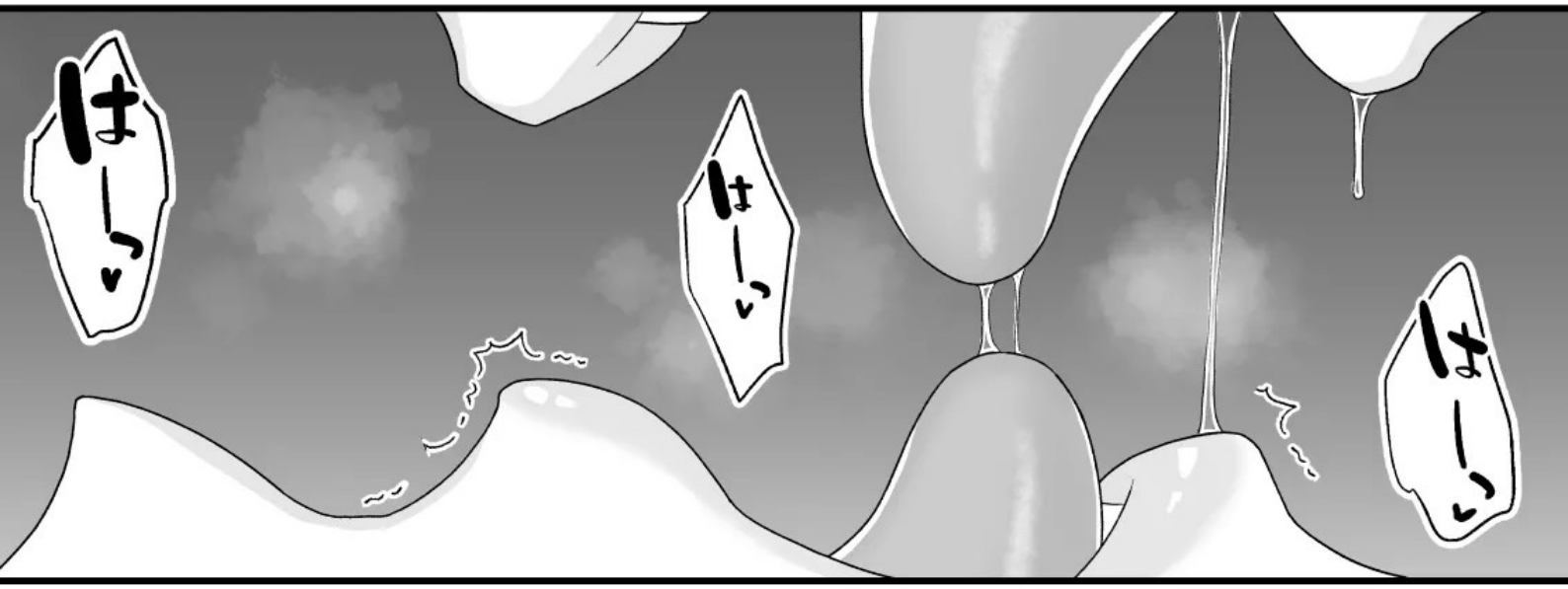

おばさーん
りおー
誰かいませんかー？

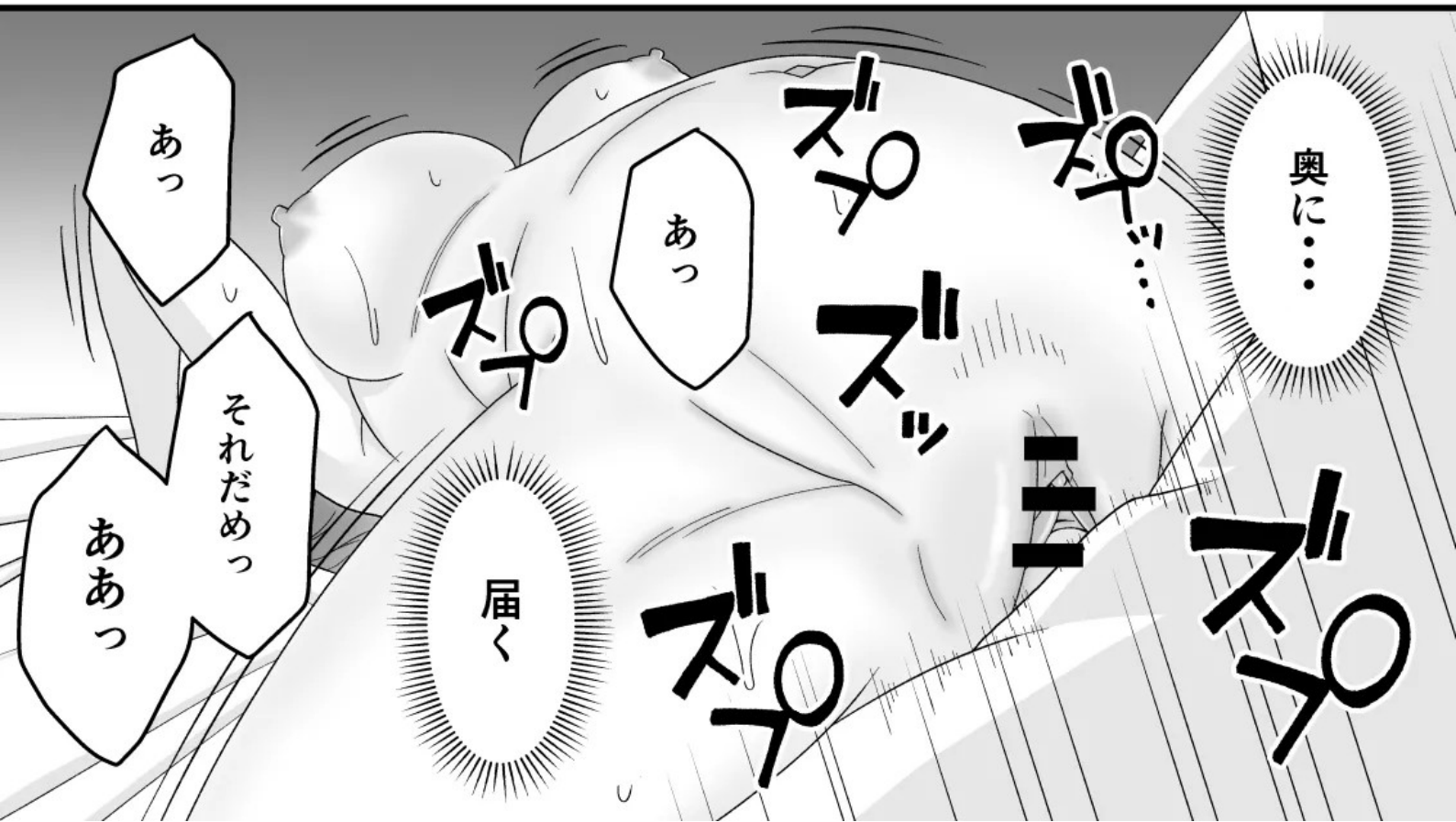
おばさーん
おばさーん


りおの声・・・
聞こえたよな・・・
ドッ
ドッ
ドッ
ドッ


あっ
はーっ
まっ
待って！
はーっ
ああっ
はーっ
いきなりそんなに…
激しくしちゃ…
ズボッ
ズボッ
ズボッ
ズボッ


なにこれ…
拓ちゃんのとぜんぜん違う…
ズボッ
ズダッ
ズポッ
ズダッ
レロッ
レロッ
レロ
んんっ
んっ


はーい
はーい
はーい


奥に…
ズポッ…
ズプ
ズッ
ズプ
ズプ
ズプ
あっ
あっ
届く
それだめっ
ああっ

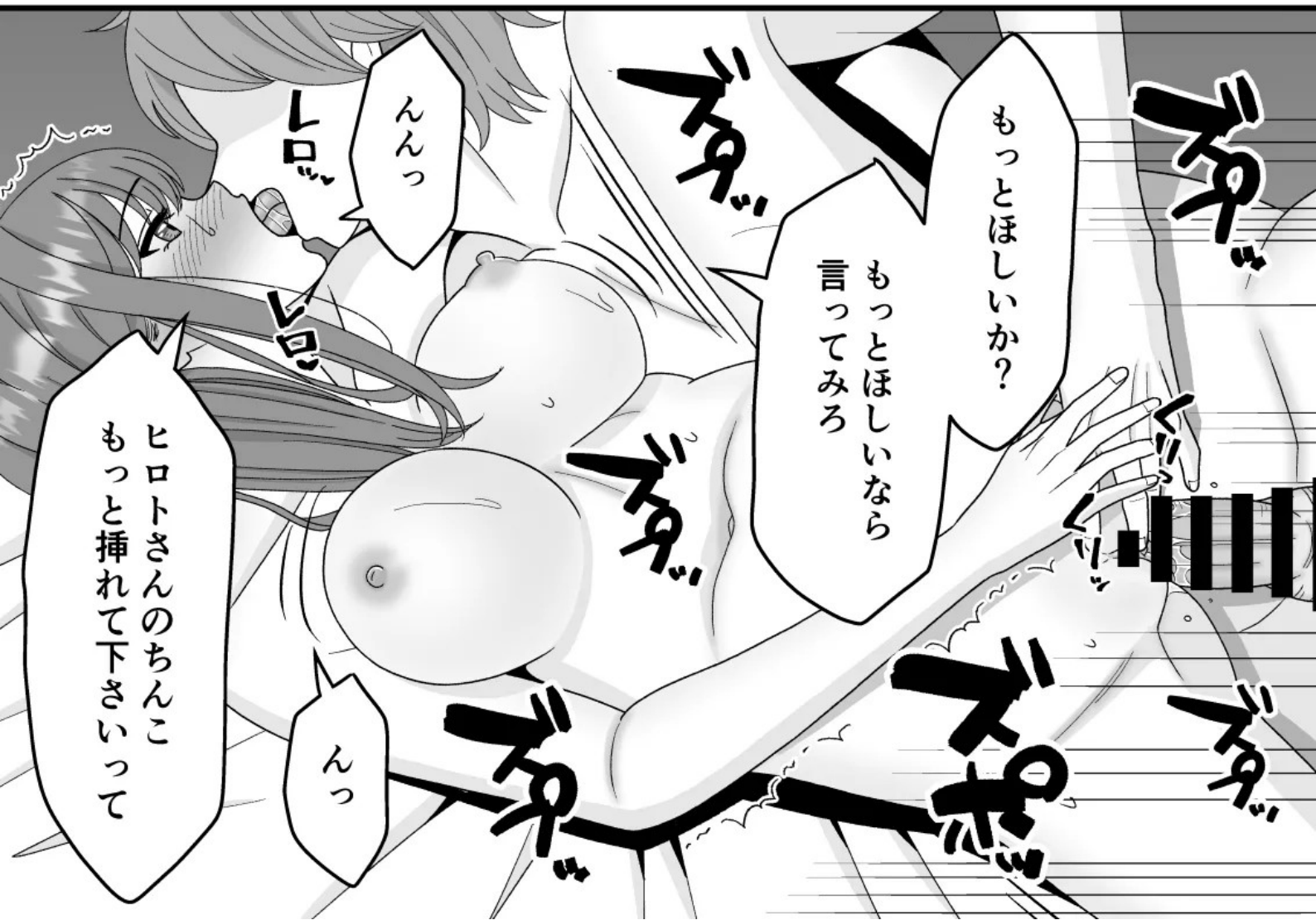

入らないって言ってた
わりにはズッポシ
咥えこんでるぜ
お前のおまんこ
はーっ♥
あっ
はーっ
奥・・・
だめっ！
ああっ
ズプッ
ズプッ
ズプッ
ズプッ
私こんなの・・・
知らない・・・



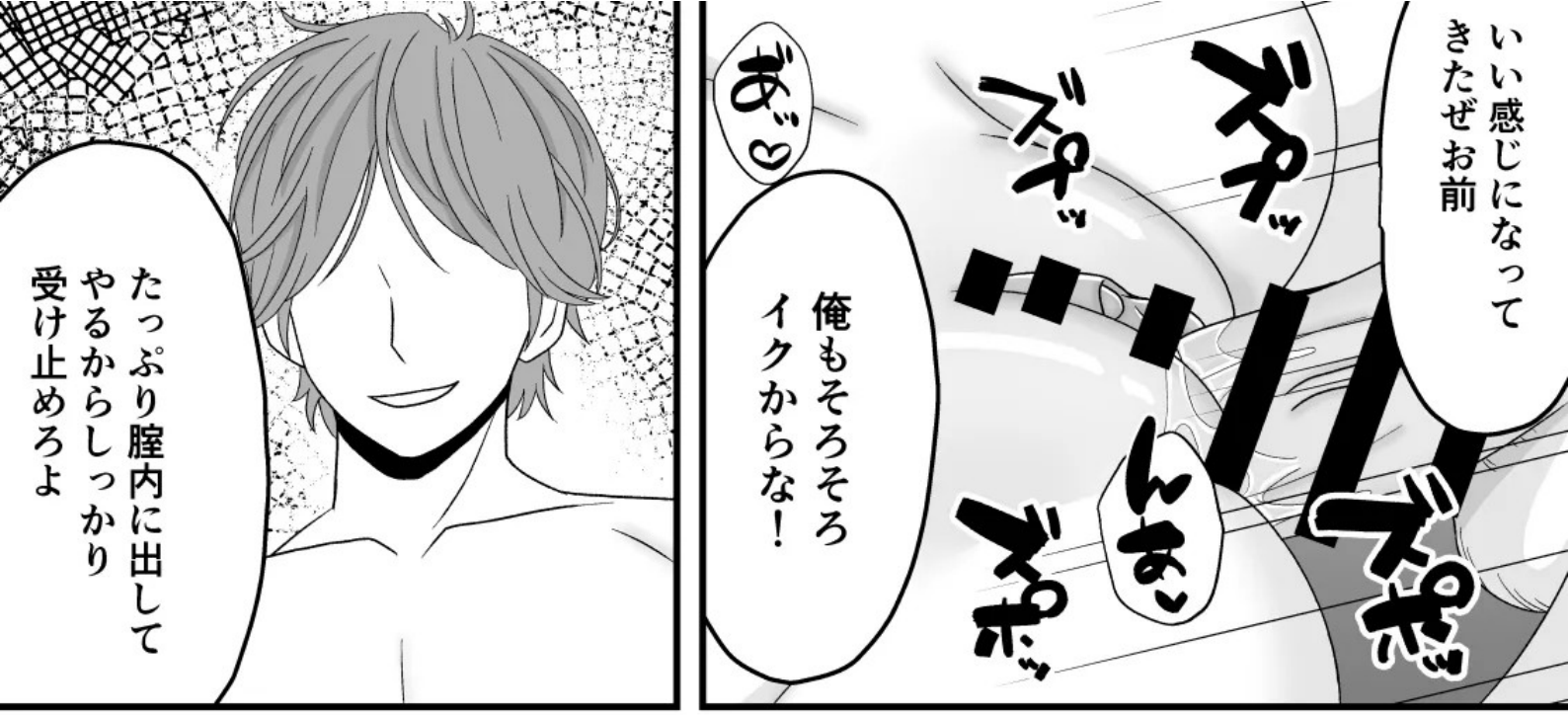

ドッ
ドッ
ドッ


ドッ
ドッ


ズダダ
ズボボ
ズダダ
ズダダ
んぁ～
気持ち・・・
いいっ
ゼクゼク
なあ
言ったとおり俺のちんこ
気持ちいいだろ？
おぉ♡


ズダダ
もっとほしいか？
もっとほしいなら
言ってみろ
ズダダ
んんっ
レロレロ
ズダダ
ヒロトさんのちんこ
もっと挿れて下さいって
んっ
ズボボ
ズダダ


ヒロトさんの…
ち…
ちんこ
…挿れて下さい
ズポッ
ズダッ
そんな小さい声じゃ聞こえないだろ！
はあんっ！
ヒロトさんのちんこ…
もっと挿れて下さいっ！
ビクッ
ズポッ

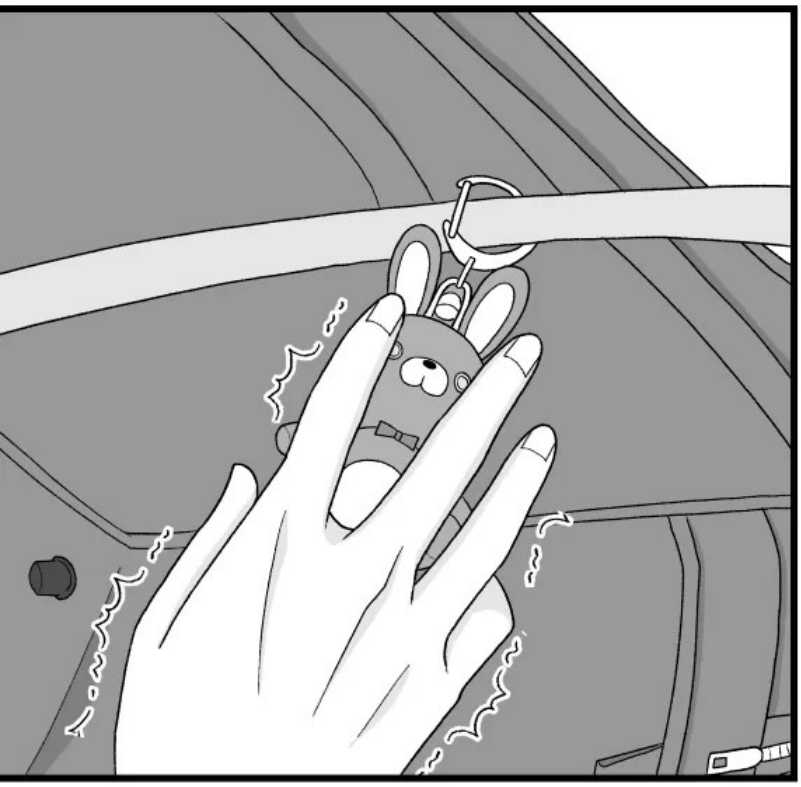

いい感じになってきたぜお前
ズプッ
ズプッ
ズプッ
んぁ♡
ぉっ♡
俺もそろそろイクからな！
たっぷり膣内に出してやるからしっかり受け止めろよ

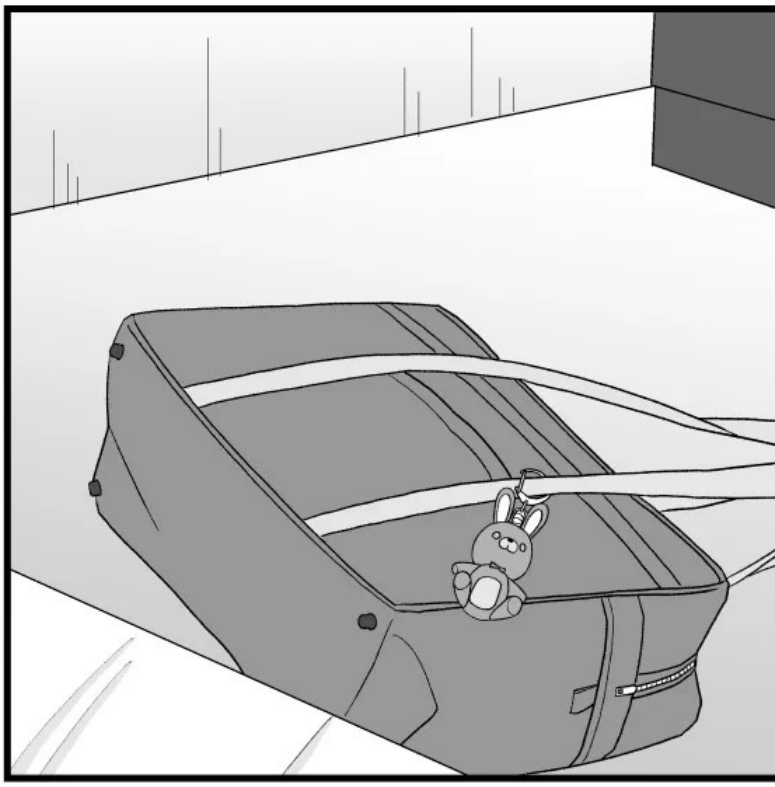

あーイクイク
この瞬間堪らねえぜ
ズプッ
ズプッ
ズプッ
ズプッ
ズプッ
だめっ
膣内はイヤっ！
はーっ♡
お願い・・・外に・・・
はーっ♡
ああっ

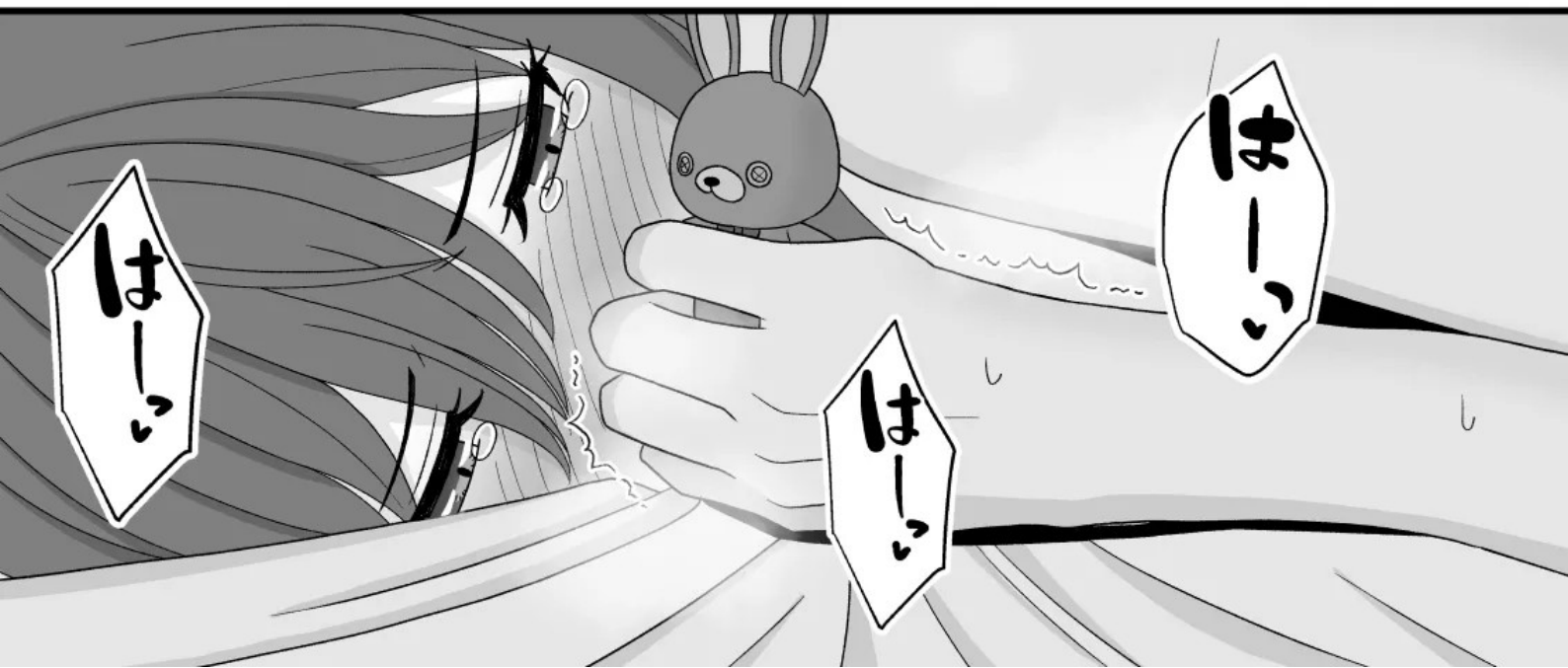

[redacted]
[redacted]
[redacted]
[redacted]
んんっ
んーっ！
嘘だろ・・・
・・・りお
俺こんな現実・・・
受け入れられないよ・・・


これから俺がじっくり
育ててやるから・・・
楽しみにしておけよ


気に入ったぜお前
はーっ♥
仕込みがいがあるわ
ぬぽっ
はーっ♥






はーっ
はーっ
はーっ





あとがき

本書をお手に取っていただき、誠にありがとうございます。

ピクシブやファンティアにて新作の進捗を掲載して
いますので、ご興味がありましたら覗いてみて下さい。
作品に対する感想やご要望も歓迎しております。

最後まで見ていただき本当にありがとうございました！

君はあの日、静かに寝取られた

発行日　　：2025年8月7日
発行者　　：くろねこ
ピクシブ　　：https://www.pixiv.net/users/115792542
ファンティア：https://fantia.jp/fanclubs/536256

●この作品はフィクションです。実在の人物・作品・団体・出来事などには関係ありません。
●この本は個人が非公式に発行したものです。そのため、公式設定に準拠していません。
●18歳未満の閲覧は禁止です。本書の転載、編集、トレース、転売、使用を禁止します。

●This is a work of fiction. Any resemblance to actual persons, living or dead, works, organizations, events, or locales is entirely coincidental.
●This work is an unofficial publication by a private individual.
It does not represent any official point of view.
●ADULTS ONLY 18+. DO NOT REPOST, EDIT, TRACE, RESELL OR USE MY WORKS.